

健康課

○ 健康文化都市推進事業

生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針(伊勢市健康増進計画)に基づき、健康文化週間・健康の日を中心に様々な啓発事業を実施した。肥満予防を目的に「低カロリー・バランス食」の啓発や「ウォーキング」の推進を図るため、レシピ集の発行やウォーキング講座等を実施したり、皇學館大学へのウォーキングルートの検証委託を継続した。(事業費 2,069,803 円)

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数
健康文化週間啓発事業	中央保健センター 小俣保健センター 他	7 回	857 人
健康の日啓発事業	中央保健センター ハートプラザみその 他	13	415
ウォーキング大会	市内各地域	8	319
健康づくりアドバイザー養成講座	中央保健センター	6	85
健康づくり教室	中央保健センター 他	19	529
計		53	2,205

生活習慣病予防のための運動や健康づくりを目的に自主的に活動し実践しているグループに対して、健康づくり広場の提供や市民の活動の支援に努めた。

区 分	対象者	回 数	参加者数
運動教室ＯＢ会	運動教室修了者	215 回	8,678 人
健康づくりアドバイザー	健康づくりアドバイザー養成講座修了者	9	128
計		224	8,806

○ 救急医療関係

一次救急医療事業委託

休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図った。なお、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう「救急・災害を考える集い」を9月4日に開催予定であったが、台風のため中止となった。

市民が参加するイベントなどにおいて、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED（自動体外式除細動器）の貸出を行った。

また、玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町・伊勢保健所・伊勢地区医師会と共同で、「伊勢度会地域AED設置マップ」を作成した。(事業費 4,317,777 円)

A E D貸出	件数(台数)	延べ日数	貸 出 行 事
	27 件 (31 台)	108 日	いせまつり、体育祭、花火大会、マラソン他

○ 健康・医療電話相談事業

市民の安心と救急医療体制保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による 24 時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスをティーペック㈱に委託し、9 月 1 日から実施した。（事業費 5,502,000 円）

伊勢市健康医療ダイヤル 24	日数	相談件数
	213 日（9 月～3 月）	3,232 件

○ 食生活改善推進事業

健康づくりの基本となる日常の食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成及び推進員を中心とした地域住民の自主的な活動に対する支援を行った。（事業費 810,317 円）

区 分	対 象 者	回 数	参 加 者 数
食から出発健康セミナー	市 民	6 回	74 人
ヘルスメイト料理講習会・伝達講習会	〃	116	2,721
保健事業への協力	〃	46	138
計		168	2,933

○ 定期予防接種事業

予防接種法に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、市内及び県内の医療機関において各種予防接種を実施した。

高齢者インフルエンザにおいては、10 月 15 日から接種を開始し、生活保護受給者に対して費用の全額を、生活保護受給者以外の 65 歳以上の方に対して一部助成を行った。（事業費 205,999,966 円）

予防接種区分	対象年齢・世帯	時 期	人 数	金 額
D T 二種混合	(2 期) 11 歳～13 歳未満	通 年	1,081 人	5,398,494 円
D P T 三種混合	生後 3 箇月～90 箇月未満	〃	4,242	31,104,202
日本脳炎	(1 期) 3 歳～90 箇月未満	〃	3,675	28,368,690
	(2 期) 9 歳～13 歳未満	〃	769	5,321,558
	(1 期) 救済措置分	〃	988	6,831,762
	(2 期) 救済措置分	〃	119	822,171
ポリオ	生後 3 箇月～90 箇月未満	〃	2,217	15,112,386

麻しん風しん (MR. M. R)	(1 期) 1 歳～2 歳未満	通 年	989 人	11,975,271 円
	(2 期) 5 歳～7 歳未満で小学校就学前 1 年間	〃	1,020	10,922,625
	(3 期) 中学 1 年生相当	〃	1,078	10,674,356
	(4 期) 高校 3 年生相当	〃	1,190	11,783,380
B C G	生後直後～6 箇月未満	〃	1,030	9,199,470
B C G 助成	生後 6 箇月～12 箇月未満	〃	2	17,808
季節性 インフルエンザ	65 歳以上及び一定の疾患を持つ 60～64 歳 (生活保護受給者以外)	10 月 15 日～ 1 月 31 日	19,104	49,670,400
	65 歳以上及び一定の疾患を持つ 60～64 歳 (生活保護受給者)	〃	252	907,200
計			37,756	198,109,773

○ 任意予防接種事業

国からの補助を受けて子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業を実施し、子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの任意予防接種を無料接種で行った。また、肺炎球菌予防接種助成事業（高齢者）を実施し、接種に係る費用の助成を行った。

（事業費 154,655,945 円）

予防接種区分	対象年齢・世帯	時 期	人 数	金 額
子宮頸がん予防 ワクチン	中学 1 年生～高校 1 年生	通年	3,256 人	51,897,384 円
ヒブワクチン	2 箇月以上 5 歳未満	〃	4,248	37,603,296
小児用肺炎球菌 ワクチン	〃	〃	5,053	56,932,151
肺炎球菌 ワクチン	65 歳以上（生活保護受給者）	〃	22	124,900
	65 歳以上（生活保護受給者以外）	〃	2,059	7,497,510
計			14,638	154,055,241

○ 健康増進事業関係

健康増進法に基づき、壮年期死亡の減少と介護予防の推進のため、生活習慣病予防を中心に次の諸事業を実施した。

1 健康相談事業（事業費 759,132 円）

区 分	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
総合成人健康相談	中央保健センター	23 回	78 人	
	小俣保健センター、 ハートプラザみその、 二見老人福祉センター	43	331	
重点健康相談、 栄養相談	中央保健センター、 二見老人福祉センター等	61	114	
計		127	523	

2 健康診査事業（事業費 249,913,882 円）

がん検診では、多くの市民に受けやすい検診の機会を確保した。また、特定の年齢の方に無料クーポン券を配布する国事業のがん検診事業も合わせて実施した。

区 分		実 施 機 関 等		計	金 額
		集 団	医 療 機 関		
健 康 増 進 法 健 康 診 査		—	190 人	190 人	1,787,200 円
骨粗しょう症 検 診	腰 椎 D E X A	—	73	73	2,548,700
	腰 椎 以 外	—	1,814	1,814	
胃 が ん 検 診	透 視	—	947	947	134,496,810
	内 視 鏡	—	10,145	10,145	
大 腸 が ん 検 診		—	14,233	14,233	16,349,530
大腸がん検診（クーポン券対象者）		—	2,068	2,068	
肺 が ん 検 診	X 線	369 人	11,291	11,660	19,365,060
	X 線 + 喀 痰	5	692	697	
子 宮 が ん 検 診 （ 頸 部 ）		369	4,640	5,009	32,874,190
子 宮 が ん 検 診 （ 頸 部 ） （ ク ー ポ ン 券 対 象 者 ）		26	1,117	1,143	
子宮がん検診（頸部）再検査		—	6	6	18,900
乳 が ん 検 診		1,407	2,697	4,104	24,324,070
乳がん検診（クーポン券対象者）		246	1,187	1,433	
前立腺がんマーカー検査		—	2,682	2,682	6,148,560
合 計		2,422	53,782	56,204	237,913,020

3 歯周疾患検診事業

歯の喪失を予防するため、40～50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳の市民を対象に、歯周疾患検診を実施した。（事業費 5,292,690 円）

区 分	実施時期	実 施 機 関	延べ人数
歯周疾患検診	6～10 月	市内及び度会郡内の実施 歯科医院	1,784 人
高齢者口腔総合健康診査	通年	〃	178
計			1,962

4 訪問指導事業（事業費 194,482 円）

区 分	訪 問 指 導 人 数	
	実 人 数	延 べ 人 数
がん要精検未受診者	230 人	236 人
精神疾患	10	15
健康増進法健診後の保健指導者	4	5
その他	12	13
計	256	269

○ 特定保健指導関係

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施した。

40 歳から 74 歳の伊勢市国民健康保険加入者を対象に行う、メタボリックシンドロームに着目した健康診査の結果、特定保健指導の対象者となった者に対し、「動機付け支援」と「積極的支援」の保健指導を行った。

区 分		実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
動機付け支援	来 所	中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	57 回	225 人	保健師、看護師による生活改善指導 初回支援の 6 箇月後に評価を実施
	家庭訪問	各 家 庭	265	395	
積極的支援	来 所 話	中央保健センター	113	119	医師講演・保健師、栄養士による生活改善指導 3 箇月以上継続的に支援し、初回支援の 6 箇月後に評価を実施
	家庭訪問	各 家 庭	22	22	
計			457	761	平成 23 年度 保健指導実施率 37.5%

○ 介護予防関係

介護保険法に基づき、高齢者の健康づくりと介護予防の推進のため、次の諸事業を実施した。

1 一次予防事業

65 歳以上の全ての高齢者を対象に、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるよう、介護予防に関する知識の普及・啓発を行ったり、地域における自発的な介護予防に資する活動の育成や支援を行った。

(1) 介護予防普及啓発事業（事業費 1,851,209 円）

区 分	実 施 場 所	回 数	延 べ 人 数	備 考
介護予防講座 転倒骨折予防(2日間)	中央保健センター 各 総 合 支 所	10 回	125 人	
すこやか教室	市内各地域	52	1,183	老人クラブ対象
脳活性化教室(2日間)	中央保健センター	6	118	

介護予防講演会	中央保健センター	4回	180人	
通所型介護予防事業	中央保健センター	21	291	転倒骨折予防教室 72人 脳活性化教室 186人 口腔訓練教室 31人 介護予防教室 2人
在介による 転倒骨折予防教室	市内各地域	65	1,087	市内9在宅介護支援センターに委託
訪問指導	各家庭	25	46	介護予防のための生活改善指導等
地域や団体からの要請による介護予防等	中央保健センター 市内各地域	14	445	
計		197	3,475	

(2) 地域介護予防活動支援事業(事業費 81,897 円)

区 分	対象者	回 数	延 べ 人 数	サークル数
いきいきクラブ	教室終了者等	17回	623人	
脳活性化OB会	教室修了者	118	1,502	8(センター6、老人クラブ2)
転倒骨折予防教室OB会	教室修了者	200	2,046	8(センター4、老人クラブ4)
お達者クラブOB会	教室修了者	24	226	
計		359	4,397	

2 二次予防事業

生活機能が低下し要介護状態等となるおそれのある65歳以上の者(二次予防事業対象者)を早期に発見し、要介護状態等を予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援を行った。

(1) 二次予防事業対象者の把握

70歳代を中心に、16,170人の人に基本チェックリストを郵送し、内9,441人回収をし、2,318人の二次予防事業対象者の早期発見につなげた。(事業費 6,813,485 円)

(2) 通所型介護予防事業(事業費 1,843,912 円)

区 分	場 所	回 数	延べ人数
転倒骨折予防教室	中央保健センター	101回	395人
脳活性化教室	〃	74	237
栄養改善教室	中央保健センター	10	17
口腔訓練教室	〃	32	80
介護予防教室	中央保健センター・各総合支所	50	214
計		267	943

(3) 訪問型介護予防事業

二次予防事業対象者のうち、閉じこもりや運動器の機能低下、認知機能低下等で通所による事業への参加が困難な方を対象に訪問による保健指導を9人の方に行った。（事業費 37,677 円）

○ 母子保健関係

母子保健法に基づき、乳幼児の健全育成と虐待予防及び子育て支援を図るため、次の諸事業を実施した。

1 健康教育事業

(1) 子育て支援教室事業（事業費 543,536 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
パパとママの教室	初妊婦及びその夫	中央保健センター	2日間コース 4回 計8回	179人	妊娠中・出産後の健康管理及び沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験等
離乳食教室	乳児を持つ保護者	中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	15	394	離乳食の講話 試食
要請による 育児教室等	保護者等	子育て支援センター 他	19	424	育児講座 他
育児サークル	子育て中の保護者	中央保健センター (赤ちゃんサークル・ 育児サークル)	23	272	子どもの遊び場・親の 話せる場の提供、自主 活動の支援
計			65	1,269	

(2) 発達支援教室事業（事業費 1,758,325 円）

区 分	対象者	実 施 場 所	回数	延べ人数	備 考
発達支援教室	幼児と保護者	小俣保健センター	24回	423人	1歳6箇月児健康診査、3歳児健康診査後のフォロー
親子教室 アイアイ	〃	中央保健センター	12	393	広汎性発達障害児早期発見、早期療育事業
計			36	816	

(3) 幼児歯科保健事業（事業費 2,972,710 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
むし歯バイバイ教室	2歳代の幼児と保護者	中央保健センター	24回	865人	歯科医師講話、ブラッシング指導、歯科健診、フッ化物塗布 他
3歳児フッ化物塗布教室	3歳代の幼児と保護者	〃	12	682	
歯科保健教室	幼稚園・保育園児と保護者	幼稚園 保育園	5	347	歯科医師・歯科衛生士講話、ブラッシング実習
計			41	1,894	

2 子育て相談事業（事業費 909,285 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
妊婦相談	妊婦	中央保健センター 市内各地域	随時	665人	妊娠中の健康管理
子育て相談	乳幼児	市内各地域 子育て支援センター	69回	481	発育、発達、育児相談
		中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	48	2,413	
栄養相談	〃	〃	48	523	栄養の個別相談
電話育児相談	乳幼児を持つ家族	〃	随時	—	育児の悩み等の相談
計				4,082	

3 健康診査事業（事業費 113,302,035 円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回数等	延べ人数	金 額	備 考
妊婦一般健康診査	妊婦	県内各医療機関	随時	13,200人	104,106,190円	妊娠中に14回健康診査を実施
乳児一般健康診査	4箇月・10箇月の乳児	〃	〃	1,957		乳児期に2回健康診査を実施
1歳6箇月児健康診査	1歳6箇月児～1歳8箇月児、2歳児未満	中央保健センター	24回	1,034	3,352,768	発育発達チェック小児科・歯科医師の診察 他
3歳児健康診査	3歳6箇月児～4歳児未満	〃	24	1,033	4,824,053	発育発達チェック小児科・耳鼻科・眼科・歯科医師の診察 他
妊婦歯科健康診査	妊婦	市内及び度会郡内の実施歯科医院	随時	378	1,019,024	平成12年度より実施 妊娠中に1回歯科健康診査を実施
計				17,602	113,302,035	

4 新生児等訪問指導事業

増加する児童虐待を予防するため、不安の多い新生児期の訪問指導を実施し、育児不安の解消を図るとともに、ハイリスク家庭への支援の充実を図った。（事業費 1,160,412 円）

区 分	対 象 者	人 数	備 考
妊 産 婦 訪 問 指 導	健診の要指導者及び 支援が必要な妊産婦	964 人	妊娠中・出産後の生活指導
赤ちゃん訪 問（新生児 訪問指導）	生後 2 箇月頃の乳児	970	新生児の育児における生活指導、 育児相談、身体測定等
乳 幼 児 訪 問 指 導	健康診査未受診者 及び要経過観察児	818	家庭の事情に応じた保健指導
計		2,752	

5 母子健康手帳交付事業（事業費 480,210 円）

妊娠届の提出件数	交 付 場 所
1,066 件	中央保健センター、各総合支所、各支所

6 不妊治療費助成事業

不妊治療を行っている夫婦に対し、治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的な負担の軽減を図り、少子化対策に寄与した。（事業費 9,856,875 円）

区分	助成件数
一般不妊治療	89 件
特定不妊治療	67
計	156

○ 休日・夜間応急診療所運営関係

平日夜間や休日における急病の発生に対処するため、休日・夜間応急診療所を開所し、応急診療を行った。

1 医科診療所運営事業（事業費 80,944,234 円）

区 分 診療科目		開所日数	受 診 者 数			
			市 内	市外（県内）	県 外	計
昼	内 科	69 日	1,936 人	456 人	96 人	2,488 人
	小 児 科		1,718	639	106	2,463
	小 計		3,654	1,095	202	4,951
夜	内 科	366	2,427	688	84	3,199
	小 児 科		1,850	701	119	2,670
	小 計		4,277	1,389	203	5,869
合 計		435	7,931	2,484	405	10,820

2 歯科診療所運営事業（事業費 6,626,030 円）

開所日数	受 診 者 数			
	市 内	市外（県内）	県 外	計
69 日	256 人	77 人	18 人	351 人

医 療 保 険 課

○ 国民健康保険関係

1 国民健康保険運営協議会

国民健康保険法第 11 条の規定に基づき設置した国民健康保険運営協議会を、次のとおり開催した。

(1) 開催回数 2 回 (8 月 25 日、2 月 16 日)

(2) 内容

8 月 25 日協議事項

- ・会長及び副会長の選任について
- ・平成 22 年度国民健康保険特別会計決算見込について

2 月 16 日協議事項

- ・平成 23 年度国民健康保険特別会計最終補正予算 (案) について
- ・平成 24 年度国民健康保険特別会計当初予算 (案) について

2 国民健康保険加入世帯及び被保険者数 (月平均)

世 帯 数	被保険者数	一 般 被 保 険 者		退職被保険者等	
		人 数	構成比	人 数	構成比
世帯 20,377	人 34,883	人 33,441	% 95.9	人 1,442	% 4.1

3 給付状況

種 別	件 数	金 額	摘 要
一 般 被 保 険 者 療 養 給 付 費	件 516,771	千円 7,667,168	(1) 診療延べ日数 759,714 日 (2) 費用額 10,465,181,090 円 (3) 一人当たり費用額 312,945 円 (4) 一人当たり保険者負担額 229,274 円 (5) 一人当たり受診回数 15.5 回
退 職 被 保 険 者 等 療 養 給 付 費	27,301	407,383	(1) 診療延べ日数 38,980 日 (2) 費用額 579,491,987 円 (3) 一人当たり費用額 401,867 円 (4) 一人当たり保険者負担額 282,512 円 (5) 一人当たり受診回数 18.9 回
一般被保険者療養費	9,214	69,799	

退職被保険者等療養費	件 462	千円 3,015	
一般被保険者高額療養費	25,175	904,272	
退職被保険者等高額療養費	806	63,026	
出産育児一時金	141	58,881	
葬祭費	216	10,800	

4 国民健康保険料（税）収納状況

区 分				調 定 額	収 入 額	不納欠損額	還付未済額	収入未済額	収納率
保 險 料	一 般 被 保 険 者	現年	医療	円 2,252,158,796	円 2,052,651,470	円 －	円 672,971	円 200,180,297	% 91.1
			後期	688,014,474	625,342,338	－	205,430	62,877,566	90.9
			介護	273,997,855	241,098,683	－	76,099	32,975,271	88.0
		滞納繰越	医療	524,606,715	129,590,457	93,110,834	68,693	301,974,117	24.7
			後期	126,391,809	31,341,098	23,470,223	15,887	71,596,375	24.8
			介護	65,069,312	15,769,255	12,081,846	3,220	37,221,431	24.2
		小 計		3,930,238,961	3,095,793,301	128,662,903	1,042,300	706,825,057	78.8
		退 職 被 保 険 者 等	現年	医療	116,842,204	105,757,480	－	－	11,084,724
	後期			35,940,426	32,516,298	－	－	3,424,128	90.5
	介護			34,771,145	31,134,011	－	－	3,637,134	89.5
	滞納繰越		医療	13,185,999	3,797,969	2,389,422	－	6,998,608	28.8
			後期	2,885,925	834,912	414,917	－	1,636,096	28.9
			介護	2,754,659	747,129	499,480	－	1,508,050	27.1
	小 計		206,380,358	174,787,799	3,303,819	－	28,288,740	84.7	
合 計			4,136,619,319	3,270,581,100	131,966,722	1,042,300	735,113,797	79.1	
保 險 税	一 般	滞納繰越	医療	22,494,512	1,776,426	4,958,642	－	15,759,444	7.9
			介護	2,250,224	132,453	361,458	－	1,756,313	5.9
		小 計		24,744,736	1,908,879	5,320,100	－	17,515,757	7.7
	退 職	滞納繰越	医療	908,240	33,105	13,700	－	861,435	3.6
			介護	77,975	4,716	2,300	－	70,959	6.0
		小 計		986,215	37,821	16,000	－	932,394	3.8
合 計			25,730,951	1,946,700	5,336,100	－	18,448,151	7.6	

保険料・保険税	一般被保険者	現年	医療	円 2, 252, 158, 796	円 2, 052, 651, 470	円 －	円 672, 971	円 200, 180, 297	% 91. 1
			後期	688, 014, 474	625, 342, 338	－	205, 430	62, 877, 566	90. 9
			介護	273, 997, 855	241, 098, 683	－	76, 099	32, 975, 271	88. 0
		滞納繰越	医療	547, 101, 227	131, 366, 883	98, 069, 476	68, 693	317, 733, 561	24. 0
			後期	126, 391, 809	31, 341, 098	23, 470, 223	15, 887	71, 596, 375	24. 8
			介護	67, 319, 536	15, 901, 708	12, 443, 304	3, 220	38, 977, 744	23. 6
		小　　計		3, 954, 983, 697	3, 097, 702, 180	133, 983, 003	1, 042, 300	724, 340, 814	78. 3
	退職被保険者等	現年	医療	116, 842, 204	105, 757, 480	－	－	11, 084, 724	90. 5
			後期	35, 940, 426	32, 516, 298	－	－	3, 424, 128	90. 5
			介護	34, 771, 145	31, 134, 011	－	－	3, 637, 134	89. 5
		滞納繰越	医療	14, 094, 239	3, 831, 074	2, 403, 122	－	7, 860, 043	27. 2
			後期	2, 885, 925	834, 912	414, 917	－	1, 636, 096	28. 9
			介護	2, 832, 634	751, 845	501, 780	－	1, 579, 009	26. 5
		小　　計		207, 366, 573	174, 825, 620	3, 319, 819	－	29, 221, 134	84. 3
	合　　　　計			4, 162, 350, 270	3, 272, 527, 800	137, 302, 822	1, 042, 300	753, 561, 948	78. 6
	保険料・保険税 現年計（再掲）			3, 401, 724, 900	3, 088, 500, 280	－	954, 500	314, 179, 120	90. 8
	保険料・保険税 滞繰計（再掲）			760, 625, 370	184, 027, 520	137, 302, 822	87, 800	439, 382, 828	24. 2

5 国民健康保険料（税）収納区分

区 分	収 納 額	収 納 割 合
口 座 振 替 等	2,204,714,900 円	67.4%
臨 戸 徴 収 等	156,116,368	4.8
金 融 機 関 等	911,696,532	27.8
計	3,272,527,800	100.0

6 国民健康保険料（税）滞納処分（差押）状況

区 分	不 動 産		電 話		債 権		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
3 月 末	件 16	円 3,466,000	件 3	円 1,059,580	件 2	円 569,100	件 21	円 5,094,680

7 国民健康保険財政調整基金

旧年度繰越分	1,055,642,191 円
本年度中増減高	230,376,049 円
うち 歳計剰余金積立	230,000,000 円
利子積立	376,049 円
本年度末現在高	1,286,018,240 円

8 平成 23 年度国民健康保険特別会計の決算見込みについて

歳入合計	14,095,237,555 円
歳出合計	13,293,496,332 円
歳入歳出差引額	801,741,223 円
基金積立金	410,000,000 円

9 保健事業

(1) 特定健康診査事業

メタボリックシンドローム等の早期発見を図る目的で、平成 20 年度から各医療保険者に義務付けられた健康診査を、40～74 歳の国民健康保険被保険者 27,329 人を対象に実施し、14,277 人が受診(受診率 52.2%)した。

(2) 健康づくり推進事業

成人病などの早期発見、早期治療を図るため、健康課実施の「健康診査事業」を受診した国民健康保険被保険者、延べ 21,217 人への負担を行った。

検診内容は、骨粗しょう症検査・胃がん検診・大腸がん検査・肺がん検診・前立腺がんマーカー検査・子宮がん検診・乳がん検査などを行った。

(3) 健康増進・保健指導事業

医療を受けた被保険者に対し、健康の保持・増進についての自覚を促すとともに、医療費に対する認識をより深めてもらうため、年 6 回延べ 94,962 通の医療費通知を送付した。

(4) その他の保健事業

三重県国民健康保険団体連合会が実施する保健事業について、その事業費の一部を負担した。

10 第三者行為(交通事故等)等による診療費の求償状況

一般	64 件	17,145,975 円
退職	1 件	1,853,270 円
計	65 件	18,999,245 円

○ 福祉医療費関係

1 障害者医療費の助成

障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳 1 級から 4 級または療育手帳 A 1 から B 1 の方の医療費及び精神障害者保健福祉手帳 1 級の方の通院医療費を次のとおり助成した。

(1) 障害者医療費支給事業

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成		証明書料の助成		郵送料
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月末 有資格者	延べ 件数	金 額	延べ 件数	金 額	金 額
人 2,288	人 277	人 241	人 2,324	件 50,607	円 237,089,779	件 46,660	円 9,332,000	円 604,770

(2) 65 歳以上障害者医療費支給事業

障害者医療費の助成対象である後期高齢者医療被保険者の医療費等を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月末 有資格者	延べ件数	金 額
人 2,142	人 352	人 214	人 2,280	件 62,318	円 166,981,376

2 乳幼児医療費支給事業

乳幼児等の保健の向上と福祉の増進を図るため、小学校入学前までの入院、通院にかかる医療費及び小学生の入院にかかる医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成		証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月末 有資格者	延べ件数	金 額	延べ件数	金 額
人 6,563	人 1,445	人 1,330	人 6,678	件 93,057	円 157,520,567	件 90,570	円 18,114,000

3 一人親家庭等医療費支給事業

満 18 歳年度末までの児童を養育する母（父）子家庭の母（父）及びその児童並びに父母のいない満 18 歳年度末までの児童の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費等を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成		証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月末 有資格者	延べ件数	金 額	延べ件数	金 額
人 3,130	人 459	人 438	人 3,151	件 30,673	円 73,237,260	件 29,811	円 5,962,200

4 寡婦医療費支給事業

寡婦(60歳から69歳までの女子で、配偶者と死別し、かつて20歳未満の者を扶養していた者。ただし、現在、婚姻している者を除く。)の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 の 助 成		証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3 月 末 有資格者	延べ件数	金 額	延べ件数	金 額
人 20	人 2	人 4	人 18	件 9	円 61,886	件 9	円 1,800

5 支給事業協力経費

市民の健康の向上及び地域医療への貢献を考慮し、医師会等に協力費を支払った。

伊勢地区医師会	25,700,000 円
伊勢地区歯科医師会	3,300,000 円
合 計	29,000,000 円

○ 後期高齢者医療制度関係

後期高齢者医療制度においては、各種届出や申請の受付等の窓口業務、保険料の徴収、制度についての相談への対応、広報等が市の業務とされており、保険者である三重県後期高齢者医療広域連合と連携し制度の運営にあたった。

1 被保険者数の状況

被保険者数	平成 23 年 3 月末	平成 24 年 3 月末	増 減
伊 勢 市	17,861 人	18,381 人	520 人
三重県広域連合全体	227,860	233,067	5,207

2 医療給付等の申請受付件数

区 分	件 数
高額療養費支給申請	2,354 件
療養費支給申請	1,429
葬祭費支給申請	1,054

3 後期高齢者医療保険料の収納状況

(1) 後期高齢者医療保険料収納状況

区 分		調 定 額	収入済額	還付未済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現 年 度	特別 徴収	円 640,984,545	円 641,625,282	円 640,737	円 —	円 0	% 100.0
	普通 徴収	312,441,563	306,508,377	34,907	—	5,968,093	98.1
	計	953,426,108	948,133,659	675,644	—	5,968,093	99.4
滞納 繰越		8,708,972	4,088,144	0	822,440	3,798,388	46.9
合 計		962,135,080	952,221,803	675,644	822,440	9,766,481	99.0

(2) 後期高齢者医療保険料収納区分

区 分	収 納 額	収 納 割 合
特 別 徴 収	641,625,282 円	67.4%
口 座 振 替	218,539,580	22.9
臨 戸 徴 収	3,507,306	0.4
金 融 機 関 等	88,549,635	9.3
計	952,221,803	100.0

○ 国民年金関係

1 適用事務

市民の年金受給権を確保し、老後の生活の安定を図るため、適用対象者を把握し、届出指導を実施した。

区 分	年 度 当 初 被 保 険 者 数	年 度 末 被 保 険 者 数	増減数
第1号被保険者	18,287 人	17,741 人	△546 人
任意加入被保険者	292	278	△14
第3号被保険者	9,747	9,544	△203
計	28,326	27,563	△763

2 届出書等受理

被保険者並びに受給者に対する各種届出の指導を実施し、関係届書の受理、審査、進達を行った。

(1) 被保険者資格関係届等受理状況

区 分	件 数
資格取得・喪失・種別変更	2,955 件
住 所 変 更	2,886
法 定 免 除 ・ 申 請 免 除	6,279
そ の 他	596
計	12,716

(2) 裁定請求等受理状況

区 分	件 数
老 齢 ・ 通 算 老 齢 ・ 老 齢 基 礎 年 金	14 件
障 害 基 礎 年 金	81
遺 族 基 礎 年 金	1
寡 婦 年 金	0
未 支 給 年 金	34
死 亡 一 時 金	12
現 況 届	1,105
特 別 障 害 給 付 金	0
そ の 他	24
計	1,271

(3) 老齢福祉年金関係届受理状況

区 分	件 数
未 支 給 年 金 請 求	0 件
現 況 届	8
失 権 届	0
そ の 他	0
計	8

介護保険課

○ 社会福祉関係

1 福祉有償運送普及促進支援事業

福祉有償運送を実施する特定非営利活動法人に対して、福祉車両の購入経費の一部を補助し、福祉有償運送の継続的な安全性・利便性を図り、要介護者・身体障がい者などの移動制約者に対する安全で安心な移動手段を確保した。

(1) 補助金

補助金交付先	所在地	補助金額
特定非営利活動法人 s k y	小俣町新村 312-8	円 300,000

○ 老人福祉関係

1 老人福祉施設等建設補助金

第4期伊勢市介護保険事業計画に基づき、市が選定した法人が行う地域密着型サービス施設の面的整備費や、整備後円滑に施設開設ができるよう開設準備に係る必要経費に対して補助を行うとともに、利用者の安心・安全を確保するため市内に所在する地域密着型サービス施設が行う防災改修に係る経費に対して補助を行った。

(1) 補助金

ア 面的整備

補助金交付先	施設名	所在地	補助金額
有限会社エフ	小規模多機能ホーム つながりの家	一之木4丁目 5-23	円 30,000,000

イ 施設開設準備経費

補助金交付先	施設名	所在地	補助金額
有限会社エフ	小規模多機能ホーム つながりの家	一之木4丁目 5-23	円 5,400,000

ウ 防災改修経費

補助金交付先	施設名	所在地	補助金額	備考
特定非営利活動法人 ときわ会藍ちゃんの家	第三藍ちゃんの家	宮町 1 丁目 8-19	円 220,000	飛散防止フィルム貼付工事
株式会社森伸	ケアパートナー 森伸小俣	小俣町明野 1308	1,197,000	〃
株式会社森伸	小規模多機能ホーム 森伸伊勢西	磯町 1835-4	693,000	〃
株式会社 ウェルフェア	小規模多機能ホーム ふたみ	二見町松下 1349-62	892,000	〃
株式会社 ウェルフェア	グループホーム ふたみ	二見町松下 1349-64	1,092,000	〃
有限会社 ウェルフェア三重	グループホーム くらたやま	黒瀬町 863-1	535,000	〃
計	6 件	—	4,629,000	—

2 伊勢市 24 時間対応の定期巡回・随時対応サービスモデル事業業務委託

高齢者が安心して在宅生活を送れるようにするための定期巡回・随時対応型訪問看護介護が創設されるにあたり、このサービスの提供のあり方を検証するため、伊勢市 24 時間対応の定期巡回・随時対応サービスモデル事業の委託を行った。

委託先：みえ医療福祉生活協同組合

委託料：4,991,766円

サービス提供期間：平成23年 8 月 1 日～平成24年 2 月29日

サービス提供区域：宮川圏域

利用者数：7 名

○ 介護保険料関係

1 介護保険料の収納

収納率の向上を図るため、口座振替制度の推進、コンビニ収納の開始、滞納者への早期訪問、文書、電話による自主納付の勧奨、介護保険制度の周知及び理解促進に努めた。

また、第 4 期伊勢市介護保険事業計画期間の各年度の保険料年額等について、広報への掲載・ケーブルテレビ文字放送・納入通知書にパンフレットを同封するなどの方法により周知を行った。

(1) 介護保険加入第1号被保険者数

被保険者数	特 別 徴 収		普 通 徴 収	
	人 数	構成比	人 数	構成比
人 34,602	人 32,225	% 90.2	人 3,516	% 9.8

※ 被保険者数は平成24年3月末事業状況報告より

※ 徴収区分別人数は調定資料納付義務者数（併徴者を按分）より

(2) 介護保険料収納状況（平成24年5月末）

区 分		調 定 額	収 入 済 額	還付未済額	収 納 額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現 年 度 分	特 別 徴 収	円 1,650,371,800	円 1,653,161,490	円 2,789,690	円 1,650,371,800	円 —	円 △2,789,690	% 100.0
	普 通 徴 収	141,259,590	122,371,950	93,800	122,278,150	—	18,887,640	86.6
	小計	1,791,631,390	1,775,533,440	2,883,490	1,772,649,950	—	16,097,950	98.9
滞 納 繰 越 分	特 別 徴 収	0	0	0	0	—	0	—
	普 通 徴 収	36,813,530	9,300,148	33,240	9,266,908	7,784,600	19,728,782	25.2
	小計	36,813,530	9,300,148	33,240	9,266,908	7,784,600	19,728,782	25.2
合 計		1,828,444,920	1,784,833,588	2,916,730	1,781,916,858	7,784,600	35,826,732	97.5

(3) 介護保険料収入区分

区 分	収入額	収入割合
口 座 振 替	円 48,916,677	% 2.7
訪 問 徴 収 等	29,860,002	1.7
金 融 機 関 等	52,559,517	2.9
特 別 徴 収 分	1,653,161,490	92.6
コ ン ビ ニ 収 納 分	335,902	0.1
計	1,784,833,588	100.0

○ 介護認定関係

1 申請及び認定状況

介護保険法に基づく要介護等認定申請件数及び要介護等認定者数は、次のとおりである。

(1) 要介護等認定申請件数

新規申請	更新申請	区分変更申請	小 計	転入申請	合 計
件	件	件	件	件	件
1,794	5,383	908	8,085	44	8,129

(平成23年4月～平成24年3月)

(2) 要介護等認定者数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人	人	人
880	809	1,313	1,176	984	928	847	6,937

(平成24年3月末現在)

2 介護認定審査会の状況

介護保険法及び伊勢市介護保険条例に基づき、伊勢市介護認定審査会を設置し、要介護認定等に係る審査判定業務を行った。

(1) 委員数 68人(平成23年4月現在 17合議体・1合議体4人で構成)

(2) 委員構成 医療関係者 42人

(医師24人、歯科医師6人、薬剤師3人、看護師4人、理学療法士2人、柔道整復師2人、管理栄養士1人)

福祉関係者 20人

保健関係者 6人

(3) 開催回数 204回

(4) 判定件数 ※申請件数との相違は、申請取下げ、22年度からの持越し等による。

非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
件	件	件	件	件	件	件	件	件
50	1,265	1,143	1,830	1,497	783	848	739	8,155

(平成23年4月～平成24年3月)

3 認定調査の状況

介護保険法に基づき、要介護等認定申請に係る被保険者の訪問調査を実施した。

(平成23年4月～平成24年3月)

(1) 調査件数 8,249件(※申請件数との相違は、再調査、翌年度への持越し等による。)

内訳 市職員によるもの 7,838件

委託(居宅介護支援事業者等)によるもの 411件

(2) 調査員数 13人(嘱託職員11人、非常勤職員2人 ※平成24年3月末現在)

○ 介護給付関係

1 指導監査

介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図り、もって介護保険事業の健全な運営を図るため、地域密着型サービス事業者に対し指導監査を実施した。

営利法人監査 5回

内訳	認知症対応型共同生活介護（介護予防含む）	2回
	夜間対応型訪問介護	1回
	小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）	1回
	小規模多機能型居宅介護	1回

2 伊勢市介護保険推進協議会の開催

本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るとともに、「伊勢市第6次老人福祉計画・第5期介護保険事業計画」の策定にあたり、伊勢市介護保険推進協議会を開催した。

委員数 20人

委員構成 学識経験者（1人）、保健・医療関係者（3人）、自治会代表（4人）、民生委員代表（2人）、老人クラブ代表（1人）、介護保険施設代表（1人）、居宅サービス事業者代表（3人）、障害者団体代表（1人）、介護保険被保険者代表（4人）

開催実績 7回

3 介護給付費通知書の発送

介護保険の在宅サービス利用者に対して、過去3箇月間に利用したサービスの内容や保険給付額を記載した介護給付費通知書を発送した。利用者がどのようなサービスを利用したか確認することにより事業所の不正請求の予防となり、また、保険給付額や自己負担額を知らせることにより適正なサービス利用を促した。

（1）対象サービス

介護保険の在宅サービス

（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）は、対象外）

（2）発送実績

発送日	発送件数	利用対象月
23. 6. 29	3,933件	23. 1. 1～23. 3. 31利用分

23. 9. 22	4,011 件	23. 4. 1～23. 6. 30利用分
23. 12. 15	4,086	23. 7. 1～23. 9. 30利用分
24. 3. 30	4,139	23. 10. 1～23. 12. 31利用分

4 保険給付

介護保険法に基づき、要介護(要支援)被保険者に対して次のとおり保険給付を行った。

(1) 居宅介護(介護予防)サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人	人
4月	329	459	883	813	617	443	329	3,873
5月	331	457	902	823	611	453	345	3,922
6月	327	457	878	840	625	445	345	3,917
7月	331	464	880	843	625	463	351	3,957
8月	325	478	896	871	627	466	357	4,020
9月	351	485	894	873	630	456	367	4,056
10月	364	495	902	861	633	461	362	4,078
11月	371	520	883	844	610	471	362	4,061
12月	385	497	907	873	631	482	366	4,141
1月	384	515	905	882	626	482	365	4,159
2月	400	537	903	881	626	480	362	4,189
3月	397	533	899	858	626	486	363	4,162
計	4,295	5,897	10,732	10,262	7,487	5,588	4,274	48,535
月平均	357.9	491.4	894.3	855.2	623.9	465.7	356.2	4,044.6

(2) 地域密着型（介護予防）サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	人	人	人	人	人	人	人	人
4月	6	8	82	80	109	80	57	422
5月	5	6	86	83	105	87	54	426
6月	3	7	82	87	114	85	56	434
7月	5	8	84	89	117	86	60	449
8月	6	8	82	97	117	95	61	466
9月	7	7	75	102	112	86	62	451
10月	7	8	82	105	111	88	63	464
11月	6	10	84	101	105	90	65	461
12月	6	9	83	91	114	95	67	465
1月	5	10	84	97	113	92	66	467
2月	5	9	83	100	108	88	62	455
3月	5	10	81	109	109	87	61	462
計	66	100	988	1,141	1,334	1,059	734	5,422
月平均	5.5	8.3	82.3	95.1	111.2	88.3	61.2	451.8

(3) 施設介護サービス月別受給者数

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	計
	人	人	人	人
4月	550	475	11	1,036
5月	552	477	12	1,041
6月	552	483	11	1,046
7月	561	472	13	1,046
8月	556	480	11	1,047

9月	人 554	人 468	人 12	人 1,034
10月	551	473	11	1,035
11月	550	477	12	1,039
12月	554	494	11	1,059
1月	558	481	12	1,051
2月	559	485	14	1,058
3月	560	488	16	1,064
計	6,657	5,753	146	12,556
月平均	554.8	479.4	12.2	1,046.3

(4) 保険給付費

経 費	件 数	金 額	摘 要
居宅介護(介護予防)サービス給付費	件 99,667	円 4,757,828,975	
(内訳)			
訪問介護	17,406	832,683,422	
訪問入浴介護	1,242	63,067,356	
訪問看護	7,470	325,173,778	
訪問リハビリテーション	1,248	30,799,966	
通所介護	25,879	1,685,456,087	
通所リハビリテーション	6,631	368,675,765	
福祉用具貸与	22,946	281,751,398	
短期入所	8,335	729,163,476	
居宅療養管理指導	6,141	40,901,670	
特定施設入居者生活介護	2,369	400,156,057	
特定診療費	0	0	

地域密着型介護（介護予防）サービス給付費	件 5,600	円 914,230,975	
(内訳)			
認知症対応型共同生活介護	1,676	404,121,541	
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	
地域密着型介護老人福祉施設	238	53,332,614	
認知症対応型通所介護	1,350	129,103,128	
小規模多機能型居宅介護	1,692	287,232,426	
夜間対応型訪問介護	644	40,441,266	
施設介護サービス給付費	12,846	3,158,466,815	
(内訳)			
介護老人福祉施設	6,696	1,626,468,844	
介護老人保健施設	5,848	1,479,587,733	
介護療養型医療施設	152	51,028,684	
特定診療費	150	1,381,554	
食事費用額	0	0	
居宅介護（介護予防）福祉用具購入費	711	16,975,048	腰掛便座 360件 特殊尿器 1件 入浴補助具 510件 簡易浴槽 0件 リフトつり具 3件 (※複数購入者有)
居宅介護（介護予防）住宅改修費	620	63,255,394	手すり取付け 535件 段差解消 253件 通路面変更 42件 扉等取替 54件 便器取替 35件 (※複数工事者有)
居宅介護（介護予防）サービス計画給付費	45,031	515,151,784	
高額介護（介護予防）サービス費	16,875	158,100,997	
特定入所者介護（介護予防）サービス費	12,780	421,342,730	
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	863	20,677,775	

※保険給付費は、（１）、（２）及び（３）に掲げる受給者のうち、平成23年３月から平成24年２月までの受給者に係るものである。（現物給付分は３月から翌年２月分までのサービス提供に係る保険給付を一つの会計年度として取り扱うこと等による。）

5 家族介護交流事業

介護保険において要介護 1 ～ 5 に認定された方を在宅にて介護している家族を対象に、日帰り旅行等を活用した介護者相互の交流会を行い、介護から一時的に解放されることで心身の元気回復を図った。

第一回（平成23年 8 月23日実施） 介護相談、茶話会（伊勢かぐらばリゾート「千の杜」）

参加者 16人

支出額 42,634円

第二回（平成23年12月16日実施） ヨガ体験、介護相談、茶話会（福祉健康センター）

参加者 18人

支出額 7,926円

第三回（平成24年 3 月 2 日実施） おひなさまめぐり in二見

参加者 18人

支出額 27,260円

6 介護用品支給事業

介護保険において要介護 4 又は 5 と認定され、かつ在宅にて介護を受けている者（入院中も含む）のうち、市民税非課税世帯に該当する者に対して、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド・紙パンツ・清拭剤・ドライシャンプーの購入費用について、その一部をクーポン券の支給により補助し、高齢者福祉の更なる向上と介護負担の軽減を図った。

支給者数 441 人

支給枚数 8,139 枚

利用枚数 6,719 枚

事業費 20,460,687 円（うち事務費 303,687 円）

7 家族介護慰労事業

一定の要件を満たす在宅の高齢者等を介護する家族に対して、家族介護等慰労金を支給し、その家族の精神的及び経済的負担の軽減を図った。

対象者数 2 人

支給金額 200,000円

8 住宅改修支援事業

介護保険の要介護又は要支援の認定者で、居宅介護支援の提供を受けていない者が、適切な住宅改修がおこなえるよう、住宅改修費の支給申請に必要な「理由書」の作成者に対し助成を行った。

対象者 居宅介護支援事業所等

作成件数 202 件

助成金額 404,000 円

9 介護相談員派遣事業

介護保険サービス利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに事業所におけるサービスの質的な向上を図るため、介護相談員を派遣し、利用者の相談業務を行った。

また、活動及び相談内容を載せた介護相談員だよりを発行し、市内介護サービス事業所へ送付した。

介護相談員数 8人

派遣先事業所 16法人48事業所

10 介護保険制度の周知

介護保険制度や事業計画について、パンフレットの配布・広報への掲載等により周知活動を行った。また、説明会を実施した。

(1) パンフレット配布

「介護保険」、「介護保険のてびき」、「特定福祉用具の購入をお考えの方へ」、「介護保険の住宅改修」、「介護保険料だより」を作成し、窓口での配布を行った。

(2) 説明会等の実施

- ・人材育成カレッジにて、市職員に対し介護保険制度の講習を実施した。(1回)
- ・地域密着型サービス事業所に対し、介護報酬改定説明会を実施した。(1回)

(3) 広報

保険料や税控除、家族介護交流事業に関するお知らせ、認定調査員の募集などについて掲載した。(7回)

(4) ケーブルテレビ

確定申告に利用できる税控除のお知らせや認定調査員の募集、介護保険事業計画のパブリックコメント実施などについて文字放送を行った。(6回)

(5) ホームページ

地域密着型サービス事業所一覧や介護保険料等の修正、介護保険推進協議会の議事録や介護保険事業計画の掲載を行った。

11 ケアプラン点検実施事業

伊勢市ケアプラン点検事業実施要綱に基づき、ケアプラン点検委員会を設置し、ケアプランを点検し、介護給付等の適正化を図り、利用者に対する適切な介護サービスの確保に努めた。

(1) 委員数 7人

(2) 委員構成	居宅介護支援事業所	2人
	地域包括支援センター	3人
	事務局	2人

(3) 開催回数 3回

(4) 点検件数 12件

生 活 支 援 課

○ 災害関係

1 東日本大震災義援金受付

平成 22 年度 19,403,153 円

平成 23 年度 27,308,134 円

計 46,711,287 円

2 東日本大震災被災世帯生活支援金貸付

貸付件数 2 件

貸付総額 900,000 円

3 東日本大震災応援経費支弁金

応急仮設住宅 9 件 1,292,571 円

炊き出しの給与 5 件 351,704 円

被服寝具生活必需品給与貸与 5 件 2,243,546 円

救助事務費 10 件 2,841,342 円

4 台風 12 号義援金配布

義援金配布金額 912,000 円

5 台風 12 号被災者生活再建支援 (県 1 / 2 ・ 市 1 / 2)

支援件数 24 件

支援金額 5,250,000 円

○ 社会福祉関係

1 行旅者の一時扶助取扱状況

行旅病人等一時扶助 19 件 10,640 円

2 災害見舞金支給状況 (「伊勢市災害見舞金支出要綱」による。災害救助法の適用を受けるに至らない災害罹災者対象)

火事全焼 1 件 50,000 円

火事半焼、半壊 1 件 30,000 円

床上浸水 25 件 500,000 円

死 亡 0 件 0 円

3 民生委員・児童委員活動事業

(1) 伊勢市民生委員児童委員協議会連合会

ア 定数

	定数	現在員 (H24.3.31)
民生委員・児童委員	298 名	289 名 (男 131 名 女 158 名)
(うち主任児童委員)	(28 名)	(28 名) (男 4 名 女 24 名)

イ 活動状況

12 地区の民生委員・児童委員協議会相互の情報収集と親睦を図るため、伊勢市民生委員児童委員協議会連合会の理事会を 12 回開催した。

(日 時)	(協 議 事 項)
4 月 11 日	総会・平成 23 年度事業計画・予算等協議
5 月 9 日	総会・各種審議会委員選考等協議
6 月 13 日	総会委員質問に対する回答等協議
7 月 11 日	防災研修会・全国民生委員児童委員大会・南勢志摩ブロック研修会等協議
8 月 8 日	災害時の対応・東日本大震災による伊勢市への避難者に対する支援等協議
9 月 12 日	南勢志摩ブロック等災害関連事業等協議
10 月 11 日	災害関連事業・三重県社会福祉大会等協議
11 月 14 日	市長との意見交換会・三重県民児協ブロック別研修会等協議
12 月 16 日	三重県民児協ブロック別研修会等協議
1 月 10 日	伊勢市社会福祉大会・24 年度理事会日程等協議
2 月 13 日	平成 24 年度事業計画・三重県民児協代議員会等協議
3 月 12 日	平成 24 年度総会・研修会等協議

ウ 民生委員・児童委員の資質の向上を図るために民生委員・児童委員全体の研修を行った。

(前期全体研修) 5 月 26 日 「音楽療法による心と体の活性化」

講師 音楽療法士

秋桜(コスモス) 永田 幸子 氏、桂川 佳子 氏

(後期全体研修) 8 月 23 日 「防災研修会」

講師 危機管理課 竹内アドバイザー

伊勢消防署 東内副署長

エ 平成 23 年度 活動における内容別相談件数

	民生委員	(再掲) 主任児童員
在宅福祉	858 件	2 件
介護保険	390	0
健康・保健医療	407	44
子育て・母子保健	734	368
子どもの地域生活	2,603	348
学校生活・子どもの教育	976	418
生活費	336	2
年金・保険	38	1
仕事	130	4
家族関係	451	109

住居	149 件	1 件
生活環境	507	79
日常的な支援	3,240	57
その他	1,819	57
計	12,638	1,490

オ 地区民生委員協議会

協議会名	委員数	担当地区
五十鈴地区	31 名	進修・修道・四郷
倉田山地区	31	明倫・有緝
厚生地区	22	厚生
宮川地区	27	早修・中島
港地区	27	神社・大湊・浜郷
城田地区	14	城田
豊浜地区	14	豊浜
北浜地区	13	北浜
南部地区	24	宮本・沼木
二見地区	22	二見町
小俣地区	43	小俣町
御菌地区	21	御菌町
計	289	—

(2) 民生委員推薦会

欠員となった民生委員・児童委員の補充について、各地区・自治会から推薦された候補者の審査・推薦を行う。審査・推薦については、事務の迅速及び簡素化により持ち回りで審査を行った。(持ち回り審査 10 回)

H23. 4. 1 現 在	H23. 4. 1～H24. 3. 31 の異動		H24. 3. 31 現 在
	新 任	退 任	
285 名	12 名	8 名	289 名

(3) 主任児童委員の活動

子どもたちの見守り活動のほか、市内教育機関との連携を強化し、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように学校訪問活動を行った。

ア 学校訪問

訪問日	訪問先
5 月 13 日	御菌小学校
6 月 21 日	厚生小学校
7 月 7 日	小俣小学校
8 月 9 日	東大淀小学校
10 月 5 日	大湊小学校
11 月 21 日	市教育支援センター ネスト

イ 研修活動

- 8月8日～9日 全国主任児童委員研修会（神戸市）
 11月4日 子ども支援ネットワーク研修会（いせトピア）
 2月9日 名古屋地方裁判所視察研修（名古屋市）
 3月7日 南勢志摩ブロック主任児童委員研修会（いせトピア）

ウ こんにちは赤ちゃん事業

保健師が行っている乳児家庭訪問と併行して、安心して子育てが出来る環境を整えるため、10月から、乳児家庭全戸訪問事業「こんにちは赤ちゃん事業」を開始し、第1子新生児のお宅に訪問した。

訪問は、主任児童委員2名あるいは主任児童委員、民生委員・児童委員各1名で訪問し、子育て支援に関する情報提供、地区の主任児童委員や近くの民生委員・児童委員の名前、連絡先を伝える。

訪問状況

月別	訪問件数
10	9件
11	25
12	17
1	12
2	13
3	9
計	85

4 保護司会関係

(1) 定数 43名

H23. 4. 1 在職人員	H23. 4. 1～H24. 3. 31の異動		H24. 3. 31 在職人員
	新 任	退 任	
43名	2名	6名	39名

(2) 活動状況

ア 罪を犯した人たちの更生を援助するとともに、犯罪予防の啓発に努め、地域社会から犯罪の根絶を図った。

イ 保護司としての使命の自覚、人格識見の向上並びに職務遂行上必要な知識及び技術の修得のため、津保護観察所の指導を得て4回の定期研修会を、更に自主的な研修事業として研修視察及びブロック研修会を行った。

(定期研修)

- 6月21日 第1期統一研修会 講 師 津保護観察所保護観察官 杉森 由美子 氏
 「地域活動」
 9月16日 第2期統一研修会 講 師 同 上
 「不良措置『警告・施設送致申請・通告』」

12月1日 第3期統一研修会 講師 津保護観察所保護観察官 杉森 由美子 氏
「接触『段階別処遇と往来訪』」

3月8日 第4期統一研修会 講師 同 上
「生活環境の調整」

(研修視察)

11月29日 京都刑務所 会員研修の一環として刑務所の見学を行った。

(自主研修)

1月25日 体験発表会、研修ビデオ上映等

2月10日 伊勢・志摩・度会・松阪保護区合同ブロック研修会

(3) 伊勢市更生保護女性会（平成24年3月31日現在 27名）

女性の立場から、地域における犯罪や非行未然防止の為に啓発活動や青少年の健全育成活動に参画することにより、犯罪者や非行少年の更生に協力することを目的とするボランティア団体。

(4) 伊勢更生保護協力雇用主会（平成24年3月31日現在 16社）

地区保護司会が行う協力雇用主の拡大、犯罪者の就労の支援等の事業に対する助成、犯罪予防を図るため、世論の啓発及び広報などの事業を実施。

(5) 社会を明るくする運動

7月1日から7月31日までの間、伊勢警察署、伊勢市総連合自治会等関係団体との共催で、第61回社会を明るくする運動の実施に協力した。

7月1日～7月31日 宇治山田駅前と城田小学校前の歩道橋に啓発宣伝用横断幕を設置

7月1日～7月31日 市役所本庁舎と各総合支所に啓発宣伝用懸垂幕を設置

7月1日～9月14日 社会を明るくする運動作文コンテスト実施

7月1日～9月22日 社会を明るくする運動書道コンクール実施

7月1日 宇治山田駅と明野駅周辺で街頭啓発

7月2日 高柳夜店で街頭啓発

7月7日 世義寺周辺で街頭啓発

7月1日～7月6日 市役所ロビーにおける社明運動パネル展示

7月8日 中学生非行防止啓発

市内の全中学生・教職員（4,155名）に非行防止啓発物資を配布

7月23日 市民の集い開催

講演 「少年院の役割」

講師 宮川医療少年院 統括専門官

服部 潤二 氏

また、伊勢市総連合自治会の協力を得て「愛の資金」募金を実施した。

目 標 額	3,000,000 円
実 績 額	3,128,310 円

○ 遺家族等援護事業

1 戦没者等遺族の受付状況

戦没者等の遺族に対する第9回特別弔慰金	受付	4件
戦傷病者の妻に対する特別給付金	受付	3件
戦没者の妻に対する特別給付金	受付	0件

2 恩給関係書類交付及び指導状況

受給者死亡に係る失権届提出指導	3件
受給権調査、請求相談指導	15件
住所変更届等	1件

3 伊勢市戦争犠牲者追悼式

戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に、平成23年度伊勢市戦争犠牲者追悼式を開催した。

開催年月日	平成23年10月21日（金）
開催場所	伊勢市生涯学習センター いせトピア 多目的ホール
参列者	戦没者、戦災死没者及び引揚げ物故者の遺族 250名 来賓及び役員 41名

○ 生活保護関係

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。

1 生活保護法による扶助実施状況

区分 月別	被保護 世帯数	被保護 人員	保 護 の 状 況							
			生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	医療 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助
4	世帯 977	人 1,268	人 1,070	人 898	人 66	人 194	人 1,026	人 0	人 26	人 1
5	966	1,258	1,060	897	69	195	1,035	0	26	0
6	970	1,271	1,076	910	70	202	1,038	0	27	1
7	969	1,268	1,065	904	69	207	1,047	0	28	0
8	974	1,271	1,065	908	69	207	1,051	0	26	1
9	979	1,273	1,065	902	65	213	1,046	0	25	2
10	981	1,270	1,071	911	66	216	1,039	0	24	3
11	988	1,282	1,085	913	70	215	1,046	0	24	2
12	987	1,276	1,075	901	69	218	1,034	0	24	4

1	世帯 985	人 1,269	人 1,074	人 905	人 70	人 220	人 1,054	人 0	人 23	人 2
2	986	1,269	1,075	908	71	220	1,047	0	31	3
3	985	1,266	1,066	906	65	226	1,033	0	31	3
累計	11,747	15,241	12,847	10,863	819	2,533	12,496	0	315	22

2 扶助費支給状況

種 別	延べ世帯数	延 べ 人 員	支 出 金 額	構成比
生活扶助	世帯 9,591	人 12,847	円 625,137,921	% 28.43
住宅扶助	8,188	10,863	227,215,464	10.33
教育扶助	521	819	9,222,307	0.42
介護扶助	2,427	2,533	50,050,785	2.28
医療扶助	10,194	12,496	1,251,141,556	56.91
出産扶助	0	0	0	0
生業扶助	271	315	5,039,687	0.23
葬祭扶助	22	22	3,020,725	0.14
小 計	31,214	39,895	2,170,828,445	98.74
保護施設事務費	182	182	27,699,770	1.26
合 計	31,396	40,077	2,198,528,215	100.00

3 面接相談員設置事業

- ・ 目 的 生活保護面接相談において、法の趣旨や他法他施策の活用も含めたきめ細かな指導・助言を専門的な立場から行い、自立に向けた適切な援助を実施、また処遇困難ケースに対する指導援助体制の整備強化を図るものである。

- ・ 実施内容 ケースワーカー、査察指導員等の経験者及び適切と認められる者を嘱託職員として雇用する。

(1) 新規相談者及び被保護者の面接相談

- ・ 申請の意思確認、保護の受給要件の説明
- ・ 面接記録票・面接受付簿等の作成
- ・ 他法他施策活用についての助言、指導
- ・ 自立に向けた適切な支援
- ・ 査察指導員及びケースワーカーとの連携
- ・ その他、面接相談業務に必要な事務処理

(2) その他

- ・関係諸機関との連携
- ・ケースワーク事務の補助

月別	相談者	生活保護申請件数
4	35 人	8 人
5	40	16
6	38	10
7	37	16
8	30	8
9	30	15
10	31	12
11	37	10
12	26	11
1	44	13
2	36	14
3	40	8
計	424	141

4 就労支援員設置事業

- ・目的 生活保護受給世帯や住宅手当受給者等に対して、就労意欲の喚起、履歴書の書き方や面接の受け方の指導、公共職業安定所への同行訪問等を行う就労支援員を設置し、就労による経済的自立の支援を図ります。

- ・実施内容 ケースワーカー、査察指導員等の経験者及び適切と認められる者を嘱託職員として雇用する。

(1) 被保護者等の就労支援

- ・就労意欲の喚起と指導、助言
- ・就労支援記録簿・支援計画票等の作成・整理
- ・経済的自立に向けた適切な支援
- ・査察指導員・面接相談員及びケースワーカーとの連携
- ・その他、就労支援業務に必要な事務処理

(2) その他

- ・ハローワーク及びその他の関係諸機関との連携
- ・ケースワーク事務の補助

- ・事業効果 (1) 就労支援による就職者数 延 19 人
(2) 支援による生活保護費削減額 3,873,427 円

○ 住宅手当緊急特別措置事業

1 概要

本事業は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うものである。

なお、本事業は雇用失業情勢に対応すべく国において平成 21 年 4 月に決定された「経済危機対策」に位置付けられているものであり、平成 21 年 10 月 1 日から実施している。

2 効果

離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことで、就労意欲のある離職者等の生活が安定し、セーフティネット機能が強化・拡充された。

3 状況

月別	述べ世帯数	支給月数	支給金額
4	世帯 13	月 13	円 471,100
5	11	12	416,300
6	12	16	436,200
7	17	21	553,900
8	16	17	493,900
9	14	14	420,000
10	12	12	387,300
11	9	10	351,200
12	11	13	407,800
1	6	6	193,600
2	6	7	237,000
3	8	11	360,600
計	135	152	4,728,900

○ 福祉施設管理関係

地域福祉の活動拠点となる福祉施設の管理を行い、心身障害者、老人、児童等の福祉の向上と市民の健康増進を図った。平成 18 年 9 月 1 日から福祉健康センター、みなとデイサービスセンター、二見デイサービスセンターに指定管理者制度を導入、新たに平成 23 年 4 月 1 日からハートプラザみそにも同制度を導入してサービスの向上を図っている。

(1) 福祉健康センター

ア 所在地 伊勢市八日市場町 13 番 1 号

イ 施設の内容

身体障害者福祉センター

老人福祉センター

中央児童センター

障がい者就労支援施設 伊勢市ひまわり

会議室（１・２で老人デイサービス）（３・４・５は会議、研修等）

中央保健センター

休日・夜間応急診療所（内科・小児科・歯科）

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 23 年度指定管理料 30,322,000 円

指定期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（５年間）

エ 利用及び使用状況

区分 月別	身体障害者福祉センター	老人福祉センター	中央児童センター	会議室	保健センター	休日・夜間 応急診療所	ヘルストロン	その他	計
4	人 2,622	人 2,434	人 1,563	人 1,356	人 2,450	人 1,544	人 1,635	人 128	人 13,732
5	2,332	2,390	1,500	1,037	2,576	2,134	1,518	131	13,618
6	2,577	2,439	1,610	1,103	2,645	1,228	1,538	125	13,265
7	2,855	2,411	2,095	1,155	3,446	1,896	1,485	1,287	16,630
8	2,423	2,492	2,940	958	3,609	2,523	1,247	225	16,417
9	2,150	1,947	1,225	1,048	2,352	1,486	1,164	192	11,564
10	2,561	2,893	1,289	1,052	2,795	1,276	1,781	140	13,787
11	2,366	2,676	1,626	1,009	2,678	1,120	1,818	168	13,461
12	2,263	2,425	1,271	1,016	2,467	2,388	1,640	134	13,604
1	2,148	2,342	1,305	966	2,450	4,200	1,586	118	15,115
2	2,289	2,576	1,281	1,162	2,853	2,136	1,778	200	14,275
3	2,323	2,980	2,137	1,285	3,044	1,382	1,877	124	15,152
合計	28,909	30,005	19,842	13,147	33,365	23,313	19,067	2,972	170,620

オ 使用料収入（歯科棟分） 315,000 円

カ 施設の整備

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
八日市場町 地 内	(注) 福祉健康センタ ー下水道排水設 備引込工事	施工延長 63.8m 管渠工 59.6m ます設置工 7箇所	円 2,093,700	23.10.28	23.12.27

(注) 下水道建設課施行

(2) みなとデイサービスセンター

ア 所在地 伊勢市神社港 262 番地 1

イ 施設の内容

デイサービスセンター

在宅介護支援センター

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 23 年度指定管理料 9,464,000 円

指定期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（5 年間）

(3) 二見デイサービスセンター

ア 所在地 伊勢市二見町茶屋 310 番地

イ 施設の内容

デイサービスセンター

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 23 年度指定管理料 9,051,000 円

指定期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（5 年間）

(4) ハートプラザみその

ア 所在地 伊勢市御薗町長屋 2767 番地

イ 施設の内容

御薗老人福祉センター

御薗保健センター

御薗こども広場

御薗デイサービスセンター

御薗多目的ホール

ウ 指定管理者及び指定管理料

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 23 年度指定管理料 33,976,000 円

指定期間 平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（5 年間）

エ 利用及び使用状況

区分 月別	多目的 ホール	教 養 娯楽室	保 健 会議室	栄 養 指導室	生 活 相談室	機 能 回復 訓練室	図書室	こども 広 場	視察・ 見学等	計
4	640	180	401	136	5	1,463	61	488	0	3,374
5	2,760	275	437	181	5	1,159	48	411	0	5,276
6	1,945	425	560	196	17	1,296	31	533	39	5,042
7	2,173	445	460	259	10	1,152	68	702	0	5,269
8	4,000	575	805	422	43	1,156	90	1,021	0	8,112
9	1,450	545	563	189	0	920	44	416	0	4,127
10	3,830	435	412	229	47	1,294	60	450	0	6,757
11	3,042	567	435	316	20	1,253	64	571	0	6,268
12	600	185	334	257	20	1,179	56	530	0	3,161
1	1,280	465	788	226	5	993	68	557	0	4,382
2	2,555	470	770	259	25	1,123	79	732	0	6,013
3	2,010	495	591	147	14	1,115	69	894	0	5,335
合計	26,285	5,062	6,556	2,817	211	14,103	738	7,305	39	63,116

オ 施設の整備

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
御菌町長屋 地 内	(注1) (注2) ハートプラザみそ の多目的ホール吸 収式冷温水機取替 工事	吸収式冷温水機取替	円 10,651,200	24. 2.10	24. 5.31

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成24年度へ一部繰越

(5) 小俣保健センター

ア 所在地 伊勢市小俣町元町 536 番地

イ 利用状況

	利用者数
保健分	4,194 人
子育て支援分	23,165
関連団体	1,592
計	28,951

ウ 直営方式

○ 社会福祉協議会関係

伊勢市社会福祉協議会を通じて、市民の多様なニーズに即応した福祉サービスの提供など、地域福祉の推進に大きな役割を果たした。

1 福祉ボランティア育成事業

市民ボランティアの活動拠点としてボランティアセンターを設置し、地域住民の福祉ニーズに応じた福祉の担い手養成のため、ボランティア活動への助成及び講座等の開催を行った。

- (1) ボランティアセンター登録 団体登録 124 団体（3,318 人） 個人登録 65 人
- (2) ボランティア団体への活動助成 23 団体
- (3) ボランティア活動者の養成・育成、研修会等の開催
- (4) 福祉協力校にてボランティア体験講座等の実施 開催回数 26 回 参加者数 731 人

2 伊勢市社会福祉大会の開催

伊勢市と共催で第7回伊勢市社会福祉大会を開催した。市内の福祉関係者が一堂に会し、福祉功労者を顕彰し、併せて地域福祉の啓発のため、福祉講演会を行った。

開催年月日	平成 24 年 2 月 23 日（木）
開催場所	伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
顕 彰 者	市長感謝状 団体 1、個人 3 人 社会福祉協議会会長表彰 団体 2、個人 37 人 共同募金委員会支会長表彰 団体 10
参 加 者	民生委員・児童委員ほか福祉関係者 373 人
講 演 会	講師 こころ元気研究所 所長 鎌田 敏 氏 演題 「今日も笑顔で♪」

（参考）

社会福祉協議会 その他の主な地域福祉活動

1 小地域推進事業

地域住民が主体的に行う、高齢者や子育て、障がい者のグループ活動支援、また、各種団体等への助成事業を行い、さらには各団体間のネットワークづくりや福祉教育の推進を実施した。

(1) ふれあいいきいきサロン事業

地域住民やボランティア、自治会等が主体となって実施する「ふれあい・いきいきサロン」へ助成を行い、明るく住み良い福祉のまちづくりを推進した。

区 分	サロン設置数	実施回数	延参加者数
高齢者サロン	45 箇所	491 回	9,997 人
子育てサロン	11	101	1,971
障がい児サロン	2	22	451

(2) 一人暮らし高齢者会食サービス

民生委員・児童委員や調理ボランティア等の協力を得て、一人暮らし高齢者を対象に食事サービスを提供し、高齢者同士や地域住民と交流する機会をつくった。

実施数 38 箇所 実施回数 286 回 延利用者数 6,579 人

(3) 一人暮らし高齢者乳酸菌飲料等宅配サービス事業

一人暮らし高齢者が地域で安心して生活が出来るよう、宅配業者の協力のもと安否確認と健康維持を図るため乳酸菌飲料等の配達を行った。

登録者数 84 人 延利用回数 25,378 回

(4) 地域見守り活動事業

一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の見守り活動、登下校時の見守りや声かけ運動などの活動を行う自治会、老人クラブ、ボランティア等に助成を行った。

助成団体 63 団体

(5) 三世代交流助成事業

子どもや親、祖父母が昔の遊び等を通じて親しみ触れ合う活動を行う団体に対し、活動助成を行った。

助成団体 5 団体

2 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

伊勢市と社会福祉協議会が策定した地域福祉計画・地域福祉活動計画をもとに、市と連携の中で民生委員児童委員、自治会、関係機関と連絡調整を図り、地域福祉の推進を目指した。

(1) 地域福祉の集いの開催

地域課題や互いの福祉活動の理解を関係者間で共有するため、各中学校区で福祉懇談会を開催した。

開催年月日 平成 23 年 9 月 28 日～平成 23 年 11 月 29 日

開催場所 伊勢市福祉健康センターほか

参加者数 419 人

3 住民の福祉ニーズ把握機能の充実

地域にふさわしい創意と工夫を生かした総合的福祉サービスを推進した。

(1) 民生委員・児童委員による心配ごと相談事業

毎月第 1～4 水曜日 実施回数 48 回 延べ相談者数 33 人

(2) 弁護士による無料法律相談

毎月第 1・3 木曜日 実施回数 24 回 延相談者数 83 人

(3) 総合相談事業

弁護士・司法書士・ボランティア、民生委員・児童委員、社協職員等が相談員となって市民の総合的な問題についての相談解決に応じた。

開催年月日 平成 23 年 12 月 20 日

開催場所 伊勢市福祉健康センター

延相談者数 11 人

(4) 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者及び高齢者世帯に対し、その経済的自立と生活意欲の助長、社会参加に促進を図り、安定した生活が送れるように貸付を行った。

貸付件数 44 件

(5) 地域福祉金庫貸付事業

生活保護受給の申請をした世帯が、受給の可否が決定されるまでの間、安定した生活が送れるように貸付を行った。

貸付件数 39 件

4 福祉サービス利用者援助事業

日常生活において判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の方に対し、福祉サービス利用契約の援助と日常的金銭管理、書類等預かりサービス等の適切な援助を行うために、伊勢市・玉城町・大紀町・度会町を管轄とする伊勢地域権利擁護センターを設置し、専門員 1 名及び生活支援員を配置して事業を実施した。

(1) 地域福祉権利擁護事業 利用者数 伊勢市 56 人 玉城町 3 人 大紀町 12 人 計 71 人

5 共同募金運動

三重県共同募金会伊勢市共同募金委員会として 10 月から 12 月までの 3 箇月間、共同募金運動を自治会、各福祉団体、ボランティア等の協力を得て実施した。

募金総額 21,070,782 円

(内訳) 戸 別 募 金	17,106,122 円
法 人 募 金	1,279,000 円
街 頭 募 金	1,047,729 円
職 域・学 校 募 金	1,323,434 円
そ の 他	314,497 円

こども課

○ 児童福祉関係

1 児童福祉施設の状況

(1) 保育所

保護者が労働に従事し、又は疾病等のため家庭保育に欠ける児童を、家庭状況調査の上、入所決定し、健全育成を図った。

ア 保育所の入所状況

(ア) 公立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況							
	定員	年齢別入所人員（3月31日現在）						
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
明 倫	人 90	人 6	人 12	人 10	人 18	人 16	人 14	人 76
浜 郷	120	3	11	21	28	16	24	103
さくらぎ	90	3	9	9	18	21	16	76
大 世 古	150	3	24	17	41	30	23	138
き ら ら	60	3	14	8	20	10	18	73
二 見 浦	200	3	11	14	36	29	37	130
五 峰	100	3	5	11	27	29	22	97
高 城	60	3	6	9	11	13	14	56
あけぼの	100	6	12	19	24	18	22	101
しらとり	60	—	—	8	18	23	21	70
ゆりかご	120	6	18	20	31	25	34	134
御 菌 第 一	180	3	19	24	28	45	47	166
御 菌 第 二	150	10	11	12	27	24	24	108
合 計	1,480	52	152	182	327	299	316	1,328

(イ) 私立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況							
	定員	年齢別入所人員（3月31日現在）						
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
大 湊	人 80	人 8	人 8	人 9	人 18	人 12	人 20	人 75
一 色	120	7	12	22	37	27	41	146
村 松	45	10	4	9	7	11	3	44
船 江	90	14	13	17	14	11	18	87
たけのこ	100	10	15	11	22	22	17	97
マリア	120	18	17	27	27	20	23	132
東大淀	80	7	6	11	15	12	17	68
豊浜西	120	14	14	23	35	35	34	155
みどり	60	1	1	3	5	8	12	30
有 滝	60	5	5	9	10	10	12	51
中 須	100	9	10	21	28	28	23	119
佐 八	70	6	11	9	12	13	16	67
みややま	90	6	11	17	25	21	26	106
なかよし	45	12	12	7	13	6	9	59
えがお	60	6	13	16	16	10	4	65
あけの	90	9	21	18	17	12	4	81
合 計	1,330	142	173	229	301	258	279	1,382

運営経費 1,097,598,740 円

イ 特別保育事業

仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備するため、各種の特別保育事業を実施した。

(ア) 保育所地域活動事業

公私立保育所施設において、地域住民が主体的に子育てに関われるようにし、多世代の交流を促進した。

(イ) 障害児保育事業

保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童について、保育所に受入れをして健常な児童とともに保育することにより健全育成を図った。

区 分	重 度	中 度	計	保 育 所 （ 園 ）
公 立	人 5	人 21	人 26	浜郷、さくらぎ、大世古、きらら、二見浦、五峰、高城、あけぼの、ゆりかご、御菌第一、御菌第二
私 立	4	9	13	一色、村松、たけのこ、マリア、豊浜西、中須、なかよし、あけの
合 計	9	30	39	19 箇所

(ウ) 休日保育事業

日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で児童の保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。

実施保育所	保育所きらら館	延べ	498 人
	なかよし保育所	延べ	199 人

(工) 一時保育事業

保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。

実施保育所	保育所きらら館	1 日利用	延べ	823 人
		半日利用	延べ	243 人
	小俣子育て支援センター	1 日利用	延べ	79 人
		半日利用	延べ	58 人
	しごうこども園	1 日利用	延べ	413 人
		半日利用	延べ	150 人

(才) 延長保育促進事業

早朝から保育所を開所し、11 時間を超えた延長保育を行い、保護者の子育てと仕事の両立を支援した。

実施保育所	開所時間	延べ利用児童数 人
大世古保育所	午前 7 時 15 分～午後 7 時 15 分	83
保育所きらら館	午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	47
船江保育園	午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	59
たけのこ保育園	午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	264
みややま保育園	午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	86
なかよし保育所	午前 6 時 30 分～午後 9 時 00 分	218
えがお保育園	午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	41
あけの保育園	午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	81
計	—	879

(カ) その他の保育事業

・低年齢児保育推進事業

延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれが多い方の1割以上の0、1歳児が入所する保育所に対して、0、1歳児保育の推進を図るため、保育士配置基準を緩和して保育士を配置した。

実施保育所 公立 3箇所 0、1歳児 延べ 783人

私立 7箇所 0、1歳児 延べ 1,891人

・延長保育促進事業（職員処遇改善分）

通常の保育時間を超えて、9時間以上の保育を実施している保育所へ補助し、職員の処遇改善を図った。

実施保育所 私立 15箇所

・一般保育事業

私立保育所と公立保育所の格差是正のため、補助金を交付し、私立保育所運営の円滑化を図った。

ウ 保育所施設の整備

公立保育所施設整備

公立保育所施設の機能の維持及び向上を図るため、次のとおり工事を行った。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
黒 瀬 町 内 地	(注3) 浜郷保育所調理室空調機取替工事	空調機撤去 (5馬力) 1台 空調機設置 (3馬力) 2台	円 1,260,000	23. 4. 28	23. 7. 8
大世古 4 丁目 地	(注3) 大世古保育所調理室空調機取替工事	空調機撤去 (5馬力) 1台 空調機設置 (3馬力) 2台	1,260,000	23. 5. 2	23. 7. 12
小 俣 町 明 野 地	(注3) あけぼの園調理室空調機取替工事	空調機取替 2台	1,288,350	23. 5. 16	23. 6. 30
御 薊 町 高 向 地	(注3) 御薊第二保育園空調機取替工事	空調機取替 2台	1,260,000	23. 9. 2	23. 10. 11
小 俣 町 本 町 地	(注3) ゆりかご園給水管ほか改修工事	給水改修 一式 排水改修 一式	892,500	23. 10. 5	24. 1. 10
黒 瀬 町 内 地	(注1)(注3) 浜郷保育所屋根防水工事	屋根防水改修 178㎡	1,922,550	23. 11. 11	23. 12. 22
御 薊 町 長 屋 地	(注3) 御薊第一保育園改修工事	床改修 26.40㎡ 洋式便器設置 1箇所	1,218,000	23. 12. 6	24. 2. 3

小 俣 町 本 町 内 地	(注 2) ゆりかご園駐車場整 備工事	集水桝 2箇所 小型水路工 18m 駐車場舗装工 602 m ² 区画線設置工 233m 車止ブロック設置 N=38 本 フェンス設置 L=30m	円 4,047,750	23.12.22	24.3.15
小 俣 町 湯 田 内 地	(注 3) しらとり園テラス改 修工事	テラス樋改修 一式 テラス塗装改修 一式	714,000	23.12.22	24.1.31
常 磐 2 丁 目 内 地	(注 3) きらら館テラス日よ けテント改修工事	日よけテント改修 一式	1,260,000	24.2.6	24.3.15
計	10 件	—	15,123,150	—	—

(注 1) 建築住宅課施行

(注 2) 下水道建設課施行

(注 3) 平成 22 年度から繰越

(2) 認定こども園

保護者の就労の有無にかかわらず就学前の児童を受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能を備える認定こども園において児童の健全育成を図った。

ア 公立認定こども園の入園状況

施設名		定員	入 園 人 員 (3 月 31 日現在)						
			0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
しごうこども園	長時間部	人 70	人 6	人 15	人 12	人 20	人 17	人 13	人 83
	短時間部	30	—	—	—	—	0	2	2
	合計	100	6	15	12	20	17	15	85

イ 認定こども園の整備

(ア) 公立認定こども園の整備

しごうこども園の開設に伴う園庭整備工事等を行い、環境整備を図った。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝 熊 町 内 地	(注 1) あさま保育所解体工 事 (2 期)	保育所解体 鉄骨造平屋 357.74 m ² 構内整備工事 一式 給排水設備工事 一式	円 6,009,150	23.5.20	23.7.11

一 宇 田 町 地 内 ほ か	(注 2) しごうこども園園庭 整備工事	駐車場舗装 196 m ² 園庭舗装工 789 m ² 園庭整備工 一式 小型水路工 85m 擁壁工 31m 防護柵工 141m 電気設備工 (街灯) 2 基 遊具設置工 (遊具) 7 基 (プール、付属機材) 一式 附帯工 (掲示板) 1 基 (物置) 1 棟 区画線設置工 (区画線) 55m 構造物取壊し工 一式	円 31,834,950	23. 7. 22	23. 11. 18
〃	(注 2) しごうこども園進入 路拡幅工事	施行延長 80m 車道舗装 194 m ² 復旧舗装 28 m ² 小型水路工 81m 集水柵 3 箇所 区画線設置工 270m 構造物取壊し工 一式	4,373,250	23. 8. 26	23. 11. 22
〃	(注 1) しごうこども園太陽 光発電システム設置 工事	太陽光発電システム 設置(10kw)	8,996,400	23. 12. 2	24. 2. 29
計	4 件	—	51,213,750	—	—

(注 1) 建築住宅課施行

(注 2) 基盤整備課施行

(イ) 私立認定こども園の整備

認定こども園を整備する私立幼稚園に対し施設整備費を補助した。

施設名	施行場所	支出先	金額
修道こども園 (幼保連携型)	伊勢市楠部町地内	学校法人修道幼稚園	89,899,398 円

〔施設概要〕鉄骨造 2 階建 延べ面積 822.67 m²

〔定 員〕保育園部 (0～5 歳) 83 人

幼稚園部 (3～5 歳) 60 人

(3) 子育て支援センター

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、児童の健やかな育ちを促進することを目的として、市内 5 箇所で子育て支援センターを開設し、子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル等への支援等を実施した。

子育て支援センターきらら館

- ・利用者数 延べ 20,388 人
- ・子育て講座 92 回 延べ 3,691 人
- ・子育て相談 280 件
- ・機関紙発行 21 回
- ・サークル支援 2 団体
- ・出前保育（市内コミュニティセンター）8 回 延べ 159 人
- ・夏まつり 1 回 92 人
- ・運動会 1 回 46 人
- ・クリスマス会 1 回 58 人
- ・人形劇 3 回 162 人
- ・もちつき 1 回 115 人

小俣子育て支援センター

- ・利用者数 延べ 18,185 人
- ・子育て講座 24 回 延べ 1,971 人
- ・子育て相談 139 件
- ・機関紙発行 12 回
- ・サークル支援 8 団体
- ・出前保育（若山児童公園・大仏山公園）2 回 延べ 83 人
- ・夏まつり 1 回 77 人
- ・運動会 1 回 124 人
- ・芋ほり 1 回 69 人
- ・クリスマス会 1 回 109 人
- ・人形劇 1 回 86 人
- ・お別れ会 1 回 52 人

明倫保育所

- ・利用者数 延べ 1,695 人
- ・子育て講座 59 回 延べ 971 人
- ・子育て相談 56 件
- ・機関紙発行 12 回
- ・夏まつり 1 回 14 人
- ・運動会 1 回 14 人
- ・クリスマス会 1 回 31 人
- ・人形劇 1 回 27 人

二見浦保育園

- ・利用者数 延べ 2,484 人
- ・子育て講座 48 回 延べ 857 人
- ・子育て相談 10 件
- ・機関紙発行 12 回
- ・夏まつり 1 回 42 人
- ・運動会 1 回 70 人
- ・人形劇 1 回 44 人
- ・やきいも会 1 回 61 人
- ・もちつき 1 回 42 人
- ・クリスマス会 1 回 31 人
- ・ひなまつり会 1 回 40 人

しごうこども園

- ・利用者数 延べ 3,506 人
- ・子育て講座 45 回 延べ 1,124 人
- ・子育て相談 42 件
- ・機関紙発行 18 回
- ・人形劇 1 回 61 人
- ・クリスマス会 1 回 22 人

(4) 児童館・児童センター等

児童館・センター等を利用する児童に、遊びと運動等の必要な指導を行うとともに、地域の子ども会、母親クラブ等の組織活動の育成助長を図り、児童の健全育成に努めた。

施設名	開館 日数	児童の利用数				その他の 利 用 者	総入館 者 数
		幼児	小学生	中学生	計		
あさま児童センター	日 300	人 1,661	人 3,225	人 106	人 4,992	人 1,364	人 6,356
黒瀬児童センター	295	235	6,099	731	7,065	210	7,275
中央児童センター	299	3,806	9,267	1,699	14,772	5,070	19,842
小 俣 児 童 館	296	213	2,840	234	3,287	679	3,966
明 野 児 童 館	295	278	983	98	1,359	559	1,918
御 薊 こ ど も 広 場	341	1,067	4,454	342	5,863	1,442	7,305
明照児童館（民間）	339	553	12,068	728	13,349	4,060	17,409
計	—	7,813	38,936	3,938	50,687	13,384	64,071

2 放課後児童対策事業

(1) 伊勢市放課後児童クラブ事業

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年（１年生～３年生）の児童に対して、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図った。

児童クラブ名	所在地	児童数(※)	開設日数
二見放課後児童クラブ第１	二見町茶屋 63 番地 4 二見こども未来クラブ内	37 人	292 日
二見放課後児童クラブ第２	二見町茶屋 348 番地 二見老人福祉センター内	34	292
小俣放課後児童クラブ	小俣町元町 662 番地 1 小俣児童館内	65	292
明野放課後児童クラブ	小俣町新村 399 番地 3 明野児童館内	69	292
御菌放課後児童クラブ第１	御菌町長屋 2794 番地 1 御菌こどもプラザ内	51	293
計		256	—

(※) 児童数は毎月初日における登録児童数の平均

(2) 放課後児童クラブ運営委託

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等について、放課後児童の育成指導等、遊びを主とする健全育成活動を行うため、放課後児童クラブの運営委託を実施した。

児童クラブ名	所在地	児童数(※)	開設日数
杉の子学童クラブ	久世戸町 5 番地 (修道小学校内)	24 人	273 日
すみれ学童クラブ	常磐 3 丁目 10 番 44 号	17	291
明照こどもクラブ 楓	吹上 2 丁目 5 番 41 号	42	294
明照こどもクラブ 樺	吹上 2 丁目 7 番 10 号	15	294
ひまわり学童クラブ	旭町 349 番地	25	292
はまっこ学童クラブ	神社港 262 番地 1 (みなとデイサービスセンター内)	25	255
とよはま学童クラブ	西豊浜町 1760 番地	10	251
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 厚生学童部	宮後 1 丁目 10 番 21 号	26	293
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 城田学童部	上地町 1770 番地	21	293
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 浜郷学童部	黒瀬町 1736 番地 2 (黒瀬児童センター内)	34	293
学童クラブレインボーキッズ	上野町 2908 番地	17	292

学童クラブシルバースプーン	河崎 1 丁目 14 番 21 号	31 人	292 日
放課後学童クラブ 佐八	佐八町 2060 番地	22	293
放課後学童クラブ 四郷	楠部町 2484 番地	15	293
放課後学童クラブ 大湊	大湊町 1074 番地 1	10	293
あけの学童クラブ	小俣町新村 558 番地 21	8	289
計		342	—

(※) 児童数は毎月初日における登録児童数の平均

(3) 放課後児童クラブ施設の整備

放課後児童クラブ施設の機能の維持及び向上を図るため、次のとおり工事を行った。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地 内	二見こども未来 クラブ第 1 床改 修工事	床張替え 27.3 m ² シロアリ防除施工 27.3 m ²	円 449,800	23. 4. 22	23. 5. 10
御菌町長屋 地 内	(注) 御菌こどもプラ ザ下水道屋外排 水工事	排水設備工 (汚水) 12m 排水設備工 (雨水) 0.5m	202,650	23. 8. 24	23. 8. 29
小俣町元町 地 内 ほか	小俣・明野児童 館トイレ改修工 事	便器取替 (小俣児童館) 1 基 便器取替 (明野児童館) 1 基	420,000	23. 11. 25	24. 1. 24
計	3 件	—	1,072,450	—	—

(注) 下水道建設課施行

3 病児・病後児保育事業

病気のために学校、幼稚園、保育所にて集団保育が困難で、家庭でも保育することが出来ない児童を一時的に預かり、就業と子育て両立を支援した。

	伊勢市	玉城町	度会町	計	委託先	事業費
利用児童数	453 人	49 人	0 人	502 人	神田小児科「病児 保育エンゼル」	15,667,235 円
延べ利用日数	1,007 日	134 日	0 日	1,141 日		

4 子育て支援ショートステイ事業

保護者の疾病、出産等の理由により、一時的に家庭における児童の養育が困難となった場合に、施設において当該児童の養育、保護を行うため、また経済的理由等により緊急一時的な保護を必要とする母子を保護するため、市内 3 施設（精華学院、天理教三重互助園、サラナ）と事業委託契約を交わし事業を実施した。

施 設 名	実人員	延べ日数	事 業 費
児童養護施設「精華学院」	人 2	日 4	円 22,000
児童養護施設「天理教三重互助園」	12	39	287,300
母子生活支援施設「サラナ」	3	21	87,500

5 ファミリー・サポート・センターの運営

児童福祉の向上及び仕事と家庭の両立を支援するため、依頼会員の要望に応じて提供会員を紹介し、相互の信頼と了解の上で一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営の充実を図った。

会 員 数				活動件数	委 託 先	事 業 費
依頼 会員	提供 会員	両方 会員	計			
240 人	125 人	11 人	376 人	1,634 件	NP0 法人三重みなみ子どもネットワーク	8,229,784 円

6 子ども手当の支給

15歳到達後の最初の3月31日までの間にある児童を監護する者に子ども手当を支給し、児童の健全育成を図った。

平成23年度支給実績

対象児童延べ人数	支給額合計
183,438人	2,279,265,000円

3月末時点の受給者数等

受給対象者数	対象児童数
9,484人	15,898人

7 次世代育成支援地域行動計画の推進

次世代育成支援対策推進法（平成15年7月16日公布）の制定に伴い、平成22年3月に策定した次世代育成支援行動計画の推進を図った。

伊勢市次世代育成支援対策推進協議会の開催（1回）

開 催 日：平成24年3月29日

委員組織：学識経験者、医療関係者、福祉関係者、教育関係者、商工関係者、労働関係者、市民・保護者関係者、行政関係者

8 就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針の検討

国の就学前の子どもの教育・保育の一元化という大きな政策の転換を受け、これまで市が策定してきた「就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」及び「就学前の子どもの教育・保育に関する施設の整備計画」の抜本的な見直しを行うため、検討委員会及び講演会を開催した。

伊勢市就学前の子どもの教育・保育に関する検討委員会の開催（1回）

開 催 日：平成24年2月20日

委員組織：学識経験者、公私立幼稚園職員、公私立保育所職員、公私立幼稚園保護者、公私立保育所保護者、小学校長

就学前の子どもの教育・保育講演会の開催

開催日：平成24年3月11日

演題：「子ども・子育て新システムとこれからの就学前教育・保育施策」

○ こども家庭相談センター関係

1 こども家庭相談センターの設置

家庭児童相談員、女性相談員のほか保健師・社会福祉士等を配置し、子育てや児童虐待、DV（配偶者等による暴力）や女性に関する相談体制の充実を図るため、こども家庭相談センターを課内に設置し次のとおり工事を行った。

工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩渕1丁目地内	(注) こども家庭相談センター設置に係る東庁舎間仕切改修工事	相談室設置 空調機設置	円 1,155,000	23. 3. 25	23. 4. 20
〃	(注) こども家庭相談センター設置に係る照明改修工事	照明器具設置	308,700	23. 5. 16	23. 6. 6
計	2件	—	1,463,700	—	—

(注) 平成22年度から繰越

2 家庭児童相談状況

家庭における適切な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、各種相談に応じ、助言指導等を行った。

相談種類別受付件数

相談内容		件数	相談内容		件数
養護相談	児童虐待相談	20件	保健相談		3件
	その他の相談	26	障がい 相談	肢体不自由相談	2
育成相談	性格行動相談	7		視聴覚障がい相談	0
	不登校相談	2		言語発達障がい等相談	2
	適性相談	1		重度心身障がい相談	0
	育児・しつけ相談	1		知的障がい相談	1
	非行相談	ぐ犯行為等相談		2	自閉症等相談
触法行為等相談		0	その他の相談		5
			計		76

3 児童虐待防止活動

伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）の活動を通して児童虐待の未然防止、早期発見及び被虐待児童への迅速かつ適切な保護等を円滑に行うための体制の充実に努めた。

代表者会議委員 23 人 実務者会議委員 14 人

- | | |
|-------------------|------|
| (1) 代表者会議 | 3 回 |
| (2) 実務者会議（毎月 1 回） | 12 回 |
| (3) 個別ケース会議（随時開催） | 67 回 |
| (4) 児童虐待防止研修会 | |

児童虐待を取り巻く現状及び動向等の理解を深めるために研修会を開催した。

日 時 平成 23 年 11 月 4 日（金）午後 2 時～午後 4 時

場 所 伊勢市生涯学習センター いせトピア

参加者 61 人（代表者会議委員、実務者会議委員、民生委員・児童委員、主任児童委員）

内 容 「被虐待の子どもゼロを目指して」

（講師 鈴鹿医療科学大学 教授 藤原 正範 氏）

- (5) 児童虐待防止広報・啓発活動

『広報いせ』4 月号に、こども家庭相談センター及び子ども家庭支援ネットワークの記事を、11 月号に児童虐待防止啓発の記事を掲載した。また、11 月の子ども虐待防止啓発月間「子ども虐待防止メッセージ伝達式」において県と連携して児童虐待の防止や早期発見・通告への協力を呼びかけた。

- (6) CAP（子どもへの暴力防止）プログラムの実施（CAP…Child Assault Prevention）

市内の各保育所（園）・幼稚園・小学校に募集を行い、CAP プログラムを実施した。

実施施設 保育所（園）…2 箇所、小学校…3 箇所

参加者数 児童 225 名、保護者・保育士・教諭等 125 名

4 女性相談状況

女性に対する人権侵害等の悩み、DV（配偶者等による暴力）に関する相談に応じ、その問題の解決に必要な指導を行った。

相談種別	実人員	延べ件数
夫等の暴力（DV）	人 45	件 211
離婚問題	11	16
夫等の問題（酒乱・薬物中毒等）	1	1
子どもの問題（子どもの暴力・養育不能等）	4	9
親族の問題（親・その他親族の暴力等）	4	36
その他の人間関係	4	47
経済関係（借金・生活困窮等）	5	10
医療関係	3	81
その他	1	12
計	78	423

一時保護 8 件

5 心身障害児通園施設おおぞら児童園

(1) 発達療育

- ・食事や排泄、衣服の着脱の自立など、基本的な生活習慣の指導を行い、手遊び、ふれあい遊び、音楽療法士による音楽活動を通じて、運動・感覚・認知機能・言語能力の発達を促した。

対象 1 歳～就学前
実施時間 火・金曜日 午前 9 時～正午
利用児童数 延べ 781 人（うち音楽療法士対応 298 人）

(2) 感覚運動遊び

- ・保育士による小グループでのコミュニケーション訓練を行った。

対象 3 歳児～就学前
実施時間 月～金曜日 午前 9 時 15 分～午前 11 時
午後 1 時 15 分～午後 3 時 30 分
利用児童数 延べ 1,236 人

(3) 小学部

- ・小グループでの感覚運動や言葉・文字・かず・社会性の力をつける訓練を行った。

対象 小学校特別支援学級または、特別支援学校在籍の児童
実施時間 月～金曜日 午後 3 時～午後 4 時、午後 4 時 30 分～午後 5 時 30 分
利用児童数 延べ 575 人

(4) 作業療法

- ・作業療法士による感覚統合療法を中心とした運動・感覚・認知機能を高める訓練を行った。

対象 1 歳～小学生
実施時間 水曜日 午前 10 時～午後 4 時
利用児童数 延べ 210 人

(5) 言語訓練

- ・言語聴覚士が、言語に障がいや遅れのある児童に言語訓練を行った。

対象 3 歳児～就学前
実施時間 火・金曜日 午前 9 時～午後 4 時
利用児童数 延べ 458 人

(6) 相談等

- ・児童の発達や療育についての相談に応じた。

臨床心理士相談	就園、就学に向けての相談、家族間の問題	
	子どもの発達の問題	月 1 回 延べ 21 人
	就学に向けての相談	延べ 49 人
	子どもの発達療育についての相談	延べ 123 人

- ・保護者向け勉強会を開催した。

「身体を使うことの大切さ」	作業療法士	参加者 21 人
「子どもの心の成長と家族」	臨床心理士	参加者 23 人

(7) 機能回復訓練

- ・理学療法士による個々の状態にあわせた機能回復訓練を行った。

対象 1歳～就学前

実施回数 年7回

利用児童数 延べ22人

○ 母子・寡婦福祉関係

1 児童扶養手当の支給

父又は母と生計を同じくしていない児童が育成されている家庭（一人親家庭）の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るため、児童扶養手当の認定等の事務と支給業務を行った。

平成23年度支給実績

3月末資格者数	支給額合計
1,364人	557,298,950円

2 自立支援教育訓練給付金

母子家庭の母の就労について、主体的な能力開発の取組みを支援し、自立の促進を図るため、市が指定する教育訓練講座を受講した母子家庭の母に対して、講座終了後に受講料の一部を支給した。

支給件数	講座受講料	支給額
1件	89,221円	17,844円

3 高等技能訓練促進費

一人親家庭の父又は母の就労のための主体的な能力開発の取組を支援するために、看護師（准看護師）、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士の資格に係る養成機関で、2年以上の教程を修業する一人親家庭の父又は母に対し、その修業期間における生活費の負担減を図るため、補助金を支給した。

	支給件数	支給額合計
高等技能訓練促進費	18件	22,419,000円
入学支援修了一時金	3	125,000

4 母子・寡婦福祉資金貸付状況

母子家庭及び寡婦に対して、三重県が実施する母子寡婦福祉資金貸付の相談や申請受付事務等を行い、生活意欲の助長と経済的自立を図った。

区分	母子		寡婦	
	件数	金額	件数	金額
修学資金	2件	3,720,000円	0件	0円
就学支度資金	7	3,650,000	0	0
技能習得	2	3,146,400	0	0
計	11	10,516,400	0	0

5 母子（父子）・寡婦相談状況

母子（父子）家庭及び寡婦の身上相談に応じ、その自立に必要な指導を行った。

区 分	相 談 内 容				計
	生 活 一 般	児 童	生 活 援 護	そ の 他	
相 談 件 数	141 件 (内 1)	29 件 (内 1)	220 件 (内 1)	33 件 (内 0)	423 件 (内 3)

※（ ）は内数で父子相談件数

6 母子生活支援施設整備補助

DV被害及び児童虐待から母子の安全を確保し、保護する施設の充実を図るため、改修に伴う工事に対する施設整備費の一部を補助した。

施設名	施行場所	支出先	金額
母子生活支援施設「サラナ」東館・北館	吹上2丁目地内	(社福)明照浄済会	8,281,000円

7 母子生活支援施設の状況

18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉に欠ける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。

入 所 措 置			措 置 費
施設数	世帯数	期 間	
1 施設	1 世帯	4～8 月	1,654,703 円

長 寿 課

○ 老人福祉関係

1 老人ホーム入所措置事業

おおむね 65 歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。

(1) 老人ホーム入所措置状況等

施 設 名	年 度 当 初 入所者数	年 度 中 の 入退所者数		年 度 末 入所者数	年 間 延 べ 措置人員	措 置 費
		入 所 者	退 所 者			
高 田 慈 光 院	2 人	0 人	0 人	2 人	24 人	3,473,144 円
梨 ノ 木 園 (盲)	2	0	1	1	23	4,602,189
清 和 の 里	1	0	0	1	12	2,828,195
崇 雲 寮	1	0	0	1	12	2,159,310
か ん ざ ん 園	1	0	0	1	12	2,533,220
高 砂 寮	35	5	4	36	380	73,778,020
万 亀 会 館	95	9	8	96	1,055	156,438,009
計	137	14	13	138	1,518	245,812,087

(2) 老人ホーム入所判定状況

老人ホームへ入所の申出のあった高齢者に対して、3 回入所判定委員会を開催し、入所措置の要否の判定を受けた。

前年度末 待機者数	申 請 者 数	判 定 回 数	要措置判定 件 数	保 留 件 数	却 下 件 数	今 年 度 取下件数	今年度末 待機者数
9 人	28 人	3 回	28 件	0 件	0 件	5 件	18 人

2 老人クラブ補助金事業

地域老人クラブ及び老人クラブ連合会の活発な活動を助長するため、高齢者福祉を増進する諸事業に対して助成した。

(1) 単位老人クラブ	123 クラブ
会 員 総 数	10,591 人
1 クラブ平均会員数	86.1 人
助 成 金	7,943,250 円
(2) 単位老人クラブ (重点配分事業)	8 クラブ
助 成 金	661,480 円

(3) 伊勢市老人クラブ連合会

助 成 金 3,000,000 円

3 老人乗合バス運賃助成事業

市内に在住する 75 歳以上の高齢者を対象に、三重交通の市内路線バス全線（スカイライン線除く）及び市が運行するコミュニティバス全線で利用できる寿バス乗車券（100 円券 40 枚または 1 回乗りきり乗車券 12 枚）を交付することでバス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。

(1) 事業費 20,801,931 円（うち扶助費 19,071,615 円）

(2) 交付者数 9,758 人（交付率 53.1%）

（内訳） 100 円券 8,992 人

乗りきり券 766 人

(3) 利用枚数 183,504 枚（利用率 49.7%）

（内訳） 100 円券 180,435 枚

乗りきり券 3,069 枚

4 敬老祝品贈呈事業

市内に在住する年度末時点で満 88 歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。

	祝品相当額	人 数	計	備 考
88 歳	5,000 円	578 人	1,134,903 円	1,870 円/セット（入札後単価、税抜額）

5 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず、申し立てを行う者が四親等以内の親族にいない場合、市長の権限による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。また、制度の周知及び啓発を図るため、講演会を開催した。

(1) 申し立て実績

申し立て件数 2 件

(2) 講演会

～いつまでも安心して暮らすために～

開催日 平成 24 年 3 月 21 日

場 所 ハートプラザみその

事業費 50,540 円

○ 在宅支援事業関係

1 生きがい活動支援通所事業

おおむね 65 歳以上の在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座、日常動作訓練、趣味創作活動等サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。

事業所名	利用延べ人員	利用延べ回数	金額
神路園	5 人	17 回	36,720 円
社会福祉協議会（伊勢支所）	201	757	1,635,120
社会福祉協議会（御薗支所）	4	15	32,400
みなとデイサービスセンター	71	272	587,520
伊勢まごころ	261	907	1,959,120
あさま苑	12	46	114,080
デイサービスセンターオアシス	12	97	209,520
藍ちゃんの家	19	62	133,920
双寿園	14	60	181,040
楽寿苑	4	16	34,560
高砂寮	10	71	176,080
計	613	2,320	5,100,080

2 生活管理指導事業

おおむね 65 歳以上の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者等で、基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しにくいなど社会生活を営むうえで支障のある者に対し、生活管理指導員（ホームヘルパー）の派遣や短期間の宿泊により日常生活に対する指導及び支援を行い、基本的な生活習慣が身につくように日常生活や対人関係の構築、家事等に関する指導及び支援を行い要介護状態への進行を予防した。

(1) 生活管理指導員派遣事業

利用者 なし

(2) 生活管理指導短期宿泊事業

施設名	短期宿泊 利用延べ人数	利用延べ日数	金額
高砂寮	2 人	24 日	82,320 円

3 外出支援サービス事業

おおむね 65 歳以上の寝たきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、医療機関などへ受診するときの移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。

事業所名	利用回数	金額
アケミ交通（有）	475回	1,924,000円
三重名鉄タクシー（株）	38	163,000
め組福祉タクシー	690	2,630,000
陣吉福祉タクシー	6	30,000
こころ福祉タクシー	872	2,873,000
ケアタクシーワクワク	1	5,000
杉田福祉サービス	23	65,000
福祉タクシーうの	6	20,000
桜福祉タクシー	17	99,000
三重福祉タクシー	31	80,000
野呂自動車（有）	550	1,988,000
福祉タクシー桃市朗	379	1,141,000
福祉タクシーきらり	510	1,249,000
さっちゃん福祉タクシー	337	709,000
心和福祉タクシー	5	9,000
縁福祉タクシー	2	6,000
福分	41	106,000
えがおの木	2	2,000
かもめ福祉タクシー	4	9,000
福祉タクシー絆	2	6,000
計	3,991	13,114,000

4 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により寝具類等の衛生管理が困難な者に対し、寝具の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行い、高齢者の心身のリフレッシュおよび衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
三重県クリーニング 生活衛生同業組合伊勢支部	12 人	13 回	73,710 円

5 訪問理美容サービス事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により一般の理容店や美容院に出向くことが困難な者に対し、訪問理美容サービスのうち移動にかかる費用等の助成を行い、高齢者の精神及び衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
伊勢理容組合	11 人	43 回	43,000 円
三重県美容業生活衛生同業組合	1	3	3,000
ヘアーサロン アサマ	3	16	16,000
訪問美容サービス nico	5	15	15,000
計	20	77	77,000

6 軽度生活援助事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、日常生活上の援助が必要な者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図った。

事業所名	利用延べ人数	利用延べ回数	金額
社団法人伊勢市シルバー人材センター	304 人	587 回	808,740 円

7 緊急通報体制等整備事業

(1) 福祉電話貸与

電話を保有しないひとり暮らしの低所得（市民税非課税世帯）かつ病弱で外出困難な方で、65 歳以上または重度身体障害者の方に対し固定電話を貸与することで、社会とのつながりを促進に繋げた。

支援内容	実施台数	金額
福祉電話基本料扶助	22 台分（年度末）	554,397 円
福祉電話移転・廃止負担金	6	12,600
計		566,997

(2) 緊急通報装置貸与

ひとり暮らしで近隣に扶養義務者がいない虚弱な 65 歳以上の高齢者か重度身体障害者に対して、緊急通報装置を設置し、急病等の緊急時に迅速かつ的確に対処できる体制を整備することで、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保に努めた。

ア 貸与状況

貸与状況				委託料
年度当初	新規	撤去・休止	年度末	
246 台	26 台	60 台	212 台	6,073,389 円

イ 通報状況

通報状況	通報件数	内訳	
		正報	誤報
		機動員出動＋救急車出動要請	
4月	13件	1件	12件
5月	12	3	9
6月	9	3	6
7月	16	2	14
8月	12	0	12
9月	7	4	3
10月	19	2	17
11月	15	3	12
12月	13	2	11
1月	11	2	9
2月	15	4	11
3月	11	1	10
計	153	27	126

8 食の自立支援事業

高齢者の食の自立を目的として、65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で、買い物と調理が困難な虚弱な高齢者に対し、定期的に居宅に訪問して栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を併せて行い、日常生活の支援を行った。

事業所名	利用実人数	利用回数	金額
白百合園	3人	151回	52,850円
八百正	26	2,670	934,500
藍ちゃんの家	121	10,149	3,552,150
癒以膳	85	6,316	2,210,600
宅配クック123	64	5,650	1,977,500
ポピー配食サービス	34	1,530	535,500
計	333	26,466	9,263,100

9 高齢者世話付住宅等生活援助員派遣事業

高齢者の生活面・健康面での不安に対応する為に、高齢者向け優良賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することによって、高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう、自立した在宅生活を支援した。

援 助 内 容	延 べ 件 数
生 活 指 導 ・ 相 談	10 件
安 否 確 認	28,162
一 時 的 家 事 援 助	1,318
緊 急 時 対 応	74
関 係 機 関 と の 連 携	206
そ の 他 必 要 な 援 助	8
計	29,778

10 在宅介護支援事業（在宅介護支援センター活動事業）

在宅の高齢者や要援護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行い、当該高齢者及びその家族の福祉の増進を図った。

(1) 実施状況

在宅介護支援センター 9箇所

在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー 名	委 託 先	金 額
在宅介護支援センター神路園	社会福祉法人 伊勢医心会	700,000 円
在宅介護支援センター双寿園	社会福祉法人 邦栄会	700,000
在宅介護支援センター白百合園	社会福祉法人 福德会	700,000
在宅介護支援センター山咲苑	医療法人社団 愛敬会	700,000
在宅介護支援センター正邦苑	社会福祉法人 慈恵会	700,000
在宅介護支援センター楽寿苑	社会福祉法人 邦栄会	700,000
みなと在宅介護支援センター	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
二見ふれあいプラザ	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
小俣在宅介護支援センター	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
計		6,300,000

(2) 実施内容

ア 相談業務

() 内実人員

在宅介護支援センター名	延べ相談者数	(再掲) 延べ訪問者数
在宅介護支援センター神路園	191 (90) 人	27 人
在宅介護支援センター双寿園	210 (91)	4
在宅介護支援センター白百合園	178 (51)	16
在宅介護支援センター山咲苑	255 (80)	29
在宅介護支援センター正邦苑	85 (36)	22
在宅介護支援センター楽寿苑	325 (55)	55

みなと在宅介護支援センター	94 (56) 人	1 人
二見ふれあいプラザ	104 (42)	29
小俣在宅介護支援センター	445 (141)	16
計	1,887 (642)	199

イ 高齢者実態把握

地域の高齢者等の心身の状況及びその家族の状況等の実態を把握するとともに、介護に関するニーズの評価を行う。金額（事業費）は1件あたり 900 円

在宅介護支援センター名	実施件数	金額
在宅介護支援センター山咲苑	1 人	900 円
小俣在宅介護支援センター	3	2,700
計	4	3,600

11 救急医療情報キット配備事業

独居高齢者等の要援護者の救急対策として、「救急医療情報キット」を無料で配布し安心・安全な生活の確保に努めた。

(1) 事業費 665,145 円

(2) 配備状況 配備総数 2,981 人

配 布 方 法		
民生委員児童委員	窓 口	そ の 他
2,743 人	197 人	41 人

配 備 理 由				
75 歳以上独居	65 歳以上独居	高齢者のみ	障害手帳所持	その他
2,778 人	57 人	74 人	26 人	46 人

12 おばたグループホーム（伊勢市認知症対応型共同生活介護）関係（企業会計）

介護保険法による要支援・要介護者であって認知症の状態にある者に対して、家庭的な環境のもとで入浴、排泄、食事等の介護、その他日常生活の世話をを行い、共同生活を通じて機能訓練を営む場として設置している。

入居者へのサービス提供の部分においては、認知症に対する知識や実践力を持つわたり老人福祉施設組合に委託、会計については地方公営企業法の一部を適用し、公営企業会計による経営を行っている。

【入居者の状況】

ア 入居者の内訳（平成 24 年 3 月 31 日現在）

	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	計
男	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
女	0	1	0	0	2	4	2	9
合計	0	1	0	0	2	4	2	9

最高年齢 100 歳

最低年齢 68 歳

平均年齢 85.6 歳

イ 介護保険法による要介護認定状況（平成 24 年 3 月 31 日現在）

介護度	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人 数	0 人	0 人	5 人	2 人	2 人	0 人	9 人

ウ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
小俣町宮前 地 内	(注) おばたグループホーム 非常口設置改修工事	非常口の 1 箇所増設	円 997,500	23. 12. 22	24. 2. 29

(注) 建築住宅課施行

13 いきいき健康ひろば管理事業

いきいき健康ひろばの芝生管理や植樹剪定を行い、利用者に安全・安心な環境を提供した。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
二 俣 町 地 内 ほ か	(注) いきいき健康広場芝生 管理及び植樹剪定業務 委託	芝生養生業務 一式 防除業務 一式 植樹剪定業務 一式	円 1,464,750	23. 6. 29	24. 3. 9

(注) 維持課施行

○ 地域包括支援センター関係

1 介護予防ケアマネジメント事業（二次予防事業関係）

基本チェックリストから選定された、二次予防事業対象者（要支援、要介護状態になる恐れがある高齢者）に対して、保健師が、家庭訪問等を通じて介護予防事業の説明、参加の意思確認をした上で、必要な対象者に対して、ケアプランの作成を行い、介護予防の推進に努めた。

二 次 予 防 事 業 対 象 者 数	趣 旨 説 明 実 施 件 数	ケ ア プ ラ ン 作 成 者 数	内 訳
384 人	66 件	0 人	通所型介護予防事業参加者 23 人

2 総合相談事業・権利擁護事業

(1) 総合相談事業

高齢者の生活を福祉、医療、介護、保健など総合的に支えていくために、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等が、高齢者本人や家族からの相談に対し、さまざまな制度や社会資源の説明及び支援を行った。

ア 総合相談件数

区 分	実 数	延 数
件 数	710 件	1,046 件

イ 相談方法

区 分	電 話	来 所	そ の 他	計
延 数	529 件	502 件	15 件	1,046 件

ウ 相談内容

(単位：件)

区 分	生 活	介 護	施 設	認 知	医 療	福 祉	虐 待	消 費 者	成 年	その他	計
延 数	113	461	131	87	39	10	45	6	40	114	1,046

※虐待相談件数には疑い事例も含む。

(2) 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守るため、地域の様々な福祉・保健・医療などの関係機関と連携をとりながら、虐待の防止・早期発見に努めるとともに、悪徳商法などの消費者被害の未然防止や、契約行為の履行のための成年後見制度の活用を促進に努めた。

ア 高齢者虐待についての相談・通報対応件数等

養護者による虐待に関する相談・通報対応件数（実数）	17 件
事実確認により虐待を受けたと思われると判断した事例	7

イ 虐待の種類（重複） ※上記、虐待と判断した事例についての虐待の種類

区 分	身 体 的	介 護 ・ 世 話 の 放 棄 ・ 放 任	心 理 的	性 的	経 済 的
件 数	6 件	1 件	2 件	0 件	2 件

ウ 被虐待者との関係

区 分	夫	妻	息子	娘	その他	計
件 数	1 人	0 人	2 人	1 人	3 人	7 人

エ 被虐待者の性別

区 分	男	女	計
人 数	0 人	7 人	7 人

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

在宅と施設・病院等の間での継続的なケアマネジメントを確立するため、困難事例をはじめ、地域のケアマネジャーが抱える日常業務における相談に対し、支援助言を行った。

(1) ケアマネジャーの相談

ア. ケアマネジャーの相談件数

区 分	実 数	延 数
件 数	49 件	79 件

(2) ケアマネジャーの支援

- ・ 支援困難事例ケア会議（延数） 17 回
- ・ 地域包括ケア検討会 2 回

（在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所ケアマネジャー対象）

○ 地域包括支援センター運営事業

1 地域包括支援センター運営事業

保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図るため、地域包括支援センターの委託を行った。

(1) 業務委託内容

- ア．総合相談・支援事業
- イ．権利擁護事業
- ウ．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- エ．介護予防ケアマネジメント事業

(2) 委託先および業務委託料

委 託 先	業務委託料	う ち 支 出 済 額
伊勢市西地域包括支援センター （社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会） （委託期間：平成 23 年度～平成 25 年度）	17,000,000 円	5,000,000 円（H23. 4 月） 4,000,000 円（H23. 7 月） 4,000,000 円（H23.10 月） 4,000,000 円（H24. 1 月）
伊勢市東地域包括支援センター （社会福祉法人 洗心福祉会） （委託期間：平成 23 年度～平成 25 年度）	17,000,000 円	5,000,000 円（H23. 4 月） 4,000,000 円（H23. 7 月） 4,000,000 円（H23.10 月） 4,000,000 円（H24. 1 月）
伊勢市南地域包括支援センター （社会福祉法人 伊勢医心会） （委託期間：平成 23 年度～平成 25 年度）	17,500,000 円	5,500,000 円（H23. 4 月） 4,000,000 円（H23. 7 月） 4,000,000 円（H23.10 月） 4,000,000 円（H24. 1 月）

○ 介護予防サービス計画作成事業

1 介護予防ケアマネジメント事業（予防給付関係）

介護認定審査会で要支援 1・要支援 2 と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、介護状態の悪化を予防し、自立した生活がおくれるよう支援を行った。

- ・ 家庭訪問によるアセスメント及びケアプランの作成
- ・ 介護予防サービス事業者との担当者会議の開催
- ・ 定期的なモニタリングや評価の実施

(1) 要支援認定者（直営分）

	要 支 援 1	要 支 援 2	計
要 支 援 者	175 人	143 人	318 人
割 合	55%	45%	100%

（平成 24 年 3 月末現在）

(2) 要支援認定者（直営分）のうち介護予防サービス利用者のケアプラン作成件数（認定別）

	要 支 援 1	要 支 援 2	計
直 営	57 件	52 件	109 件
委 託	25	34	59
合 計	82	86	168

（平成 24 年 3 月末現在）

※ ケアプラン作成委託事業所 32 事業所

（うち、平成 24 年 3 月末時点ケアプラン作成事業所 18 事業所）

(3) ケアプラン作成件数および作成料（月別）

作成料はケアプラン 1 件あたり 4,120 円、新規加算については 1 件あたり 3,000 円

（作成件数の内件数）

	作成件数合計			うち委託分作成件数		
	作成件数	新規件数	作成料	作成件数	新規件数	作成料
3月	349 件	13 件	1,476,880 円	139 件	2 件	578,680 円
4月	203	4	848,360	59	3	252,080
5月	197	16	859,640	59	6	261,080
6月	144	11	626,280	60	4	259,200
7月	147	9	632,640	58	1	241,960
8月	145	6	615,400	58	2	244,960
9月	154	9	661,480	62	4	267,440
10月	158	8	674,960	60	2	253,200
11月	159	8	679,080	59	2	249,080
12月	166	12	719,920	62	6	273,440
1月	180	14	783,600	64	3	272,680
2月	175	9	748,000	65	3	276,800
計	2,177	119	9,326,240	805	38	3,430,600

※ 平成23年 3 月～平成24年 2 月

（現物給付分は 3 月から翌年 2 月分までのサービス提供に係る保険給付をひとつの会計年度として取り扱うことによる。）

障 がい 福 祉 課

1 障害者地域生活支援事業

(1) 障害者地域生活相談支援事業

伊勢市と度会郡の4町が設置している伊勢・度会地区障害者相談支援センター「ブレス」の運営を社会福祉法人に委託し、家庭訪問、来所・電話による相談を受け付け、障がい福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を実施した。

ア 委託先 社会福祉法人 三重済美学院

イ 委託金額 16,431,600 円

ウ 委託期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日

エ 相談等延べ件数

種 別	来 所	電 話	家庭等訪問	面 談	会議等	連絡調整等	計
身 体 障 がい	件 33	件 129	件 102	件 0	件 30	件 227	件 521
知 的 障 がい	576	1,522	572	26	199	685	3,580
精 神 障 がい	262	718	188	6	33	375	1,582
そ の 他	53	36	27	2	9	70	197
合 計	924	2,405	889	34	271	1,357	5,880

(2) 日常生活用具給付事業

在宅の重度の心身障がいのある人に対して日常生活の安定を図るため、特殊マット、入浴補助用具等を給付した。

種 目	対 象 者	区 分	件 数	金 額
特 殊 寝 台	下肢、体幹2級以上	給 付	件 5	円 740,456
特 殊 マ ッ ト	下肢、体幹1級以上又は知的A2以上	給 付	3	56,840
体 位 変 換 器	下肢、体幹2級以上	給 付	1	7,938
移 動 用 リ フ ト	下肢、体幹2級以上	給 付	1	144,471
入 浴 補 助 用 具	下肢、体幹機能障がい	給 付	7	389,012
T 字 杖、棒 状 の 杖	平衡、下肢、体幹機能障がい	給 付	5	13,788

移動・移乗支援用具	平衡、下肢、体幹機能障がい	給付	件 3	円 114,468
頭部保護帽	平衡、下肢、体幹、知的、精神	給付	2	26,144
火災警報器	身体2級以上、知的A2以上	給付	1	15,500
自動消火器	身体2級以上、知的A2以上	給付	1	28,700
聴覚障がい者用 屋内信号装置	聴覚2級（聴覚障がいのみの世帯及びこれに準ずる世帯）	給付	3	115,957
透析液加温器	腎臓機能障がい3級以上で自己連続携行式腹膜灌流法（CAPD）による透析療法を行う者	給付	2	92,700
ネブライザー（吸入器）	呼吸器3級以上 又は同程度の身体障がい児（者）	給付	4	126,697
電気式たん吸引器	呼吸器3級以上 又は同程度の身体障がい児（者）	給付	30	1,496,254
盲人用体温計（音声式）	視覚2級以上（盲人のみの世帯及びこれに準ずる世帯）	給付	4	28,100
盲人用体重計	視覚2級以上（盲人のみの世帯及びこれに準ずる世帯）	給付	2	36,000
携帯用会話補助装置	音声・言語機能障がい児（者） 又は肢体不自由者であって、発声・発語に著しい障がいを有する者	給付	1	98,800
情報・通信支援用具	視覚、上肢機能障がい2級以上	給付	1	135,000
視覚障がい者用 ポータブルレコーダー	視覚2級以上	給付	7	432,900
視覚障がい者用 拡大読書器	視覚障がい児（者）であって、本装置により文字等を読むことが可能になる者	給付	1	98,820
盲人用時計	視覚2級以上	給付	4	40,600
人口喉頭	喉頭摘出した音声機能障がい児（者）	給付	2	133,190
点字図書	情報の入手を点字によっている視覚障がい児（者）	給付	1	3,200
視覚障害者用ICタグ レコーダー	視覚2級以上	給付	1	39,900
FAX	聴覚障がい児（者）又は発声・発語に著しい障がいのある者	給付	4	123,945
ストマ用装具	ストマ保有者	給付	1,760	14,749,239
紙おむつ	高度の排便、排尿機能障がいのある全身性障がい児（者）等	給付	444	4,868,395

居宅生活動作補助用具	下肢・体幹 又は運動機能障がい 3 級以上 (特殊便器への取替は上肢 2 級以上)	給 付	件 8	円 1, 294, 127
計	—	—	2, 308	25, 451, 141

(3) 地域活動支援センター事業

社会福祉法人等、指定事業所への通所による創作的活動・生産活動の機会を提供し、障がいのある人と社会との交流の促進を図った。

- ア 実利用人数 128 人
- イ 給付費 4, 240, 585 円

(4) 日中一時支援事業

障がいのある人の家族の就労支援や一時的な休息を図るため、障害福祉サービス事業所等において障がいのある人に日中活動の場を提供し、見守りや社会に適応するための日常的な訓練等、適切な支援を行った。

- ア 実利用人数 83 人
- イ 給付費 7, 026, 184 円

(5) 移動支援事業

屋外での移動が困難な人に、外出のための移動に対する付き添いなどの支援を行った。

- ア 実利用人数 52 人
- イ 給付費 5, 758, 522 円

(6) 身体障害者情報保障事業

ア 手話通訳設置事業

庁内に手話通訳者を配置し、聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。

- ・窓口対応件数 200 件
- ・設置人数 常勤 1 名 (午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分)
非常勤 1 名 (午前 9 時 30 分～午後 1 時 30 分)
- ・事業費 4, 441, 557 円

イ 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚障がい等のある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等のある人の社会参加の向上を図った。

- ・主な派遣内容 会議、講演会、医療、教養講座、式典、学校入学式、障がい者団体活動、自治会活動、進学説明会、企業内面談、イベント
- ・手話通訳者派遣件数 100 件 登録通訳者数 11 名
- ・要約筆記者派遣件数 33 件 登録通訳者数 23 名
- ・事業費 1, 048, 785 円

ウ 手話奉仕員養成事業

聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座入門課程を、また、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図るため、手話奉仕員ステップアップ講座を開催した。(奉仕員：コミュニケーションがとれるもの)

- ・手話奉仕員養成講座入門課程（１月～３月、全 23 講座）

会場・受講人数 伊勢市福祉健康センター 27 名

講師：伊勢市聴覚障害者福祉協会員 2 名

- ・手話奉仕員ステップアップ講座（全 12 回）

会場・受講人数 伊勢市福祉健康センター 29 名

講師：伊勢市聴覚障害者福祉協会員 3 名

- ・事業費 173,490 円

エ 点字広報・声の広報発行事業

市政情報を分かりやすく提供するため、広報いせを点訳及び音訳し、視覚障がいのある人の情報保障の充実を図った。

- ・点字広報発行事業

事業費 150,000 円 発行人数 13 人

- ・声の広報発行事業

事業費 200,000 円 発行人数 48 人

（７）視覚障害者訪問訓練事業

在宅の視覚障がいのある人の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、対象者に対して巡回訪問し、歩行訓練等の日常生活に必要な訓練を実施した。

ア 対象者 視覚障害程度 1 種（１級から 3 級と 4 級の一部）

イ 委託先 特定非営利活動法人 アイパートナー

ウ 事業費 2,166,500 円

エ 利用人数等 16 人 155 回

（８）重度障害者訪問入浴サービス事業

重度の身体障がいにより、自宅浴槽での入浴が困難な 65 歳未満で在宅の人に対し、入浴車で訪問し、入浴や洗髪の介助を行った。

ア 委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

イ 事業費 6,579,400 円

ウ 利用人数等 7 人 550 回

（９）身体障害者用自動車操作訓練事業

身体障がいのある人が、自動車教習所において操作訓練を受け、運転免許取得に要した費用の一部を助成した。

ア 対象者	身体障害者手帳 1 ～ 4 級
イ 事業費	300,000 円
ウ 利用人数	3 人

(10) 身体障害者用自動車改造費助成事業

身体障がいのある人が、自動車の運転を容易にするためのハンドルやブレーキ装置等の改造に要した費用の一部を助成した。

ア 対象者	改造する自動車を自分で所有し運転する重度の上肢・下肢または体幹機能障がいのある人
イ 事業費	15,750 円
ウ 利用人数	1 人

(11) フリースペース運営事業費補助事業

障がいのある人に日中活動、生活交流、休息の場を提供する「フリースペース」を実施・運営する者に対して補助金を交付することにより、障がいのある人の社会参加及び社会復帰の促進を図った。

ア 補助件数	2 件
イ 補助金額	448,000 円

(12) 障がい者体育祭開催事業

障がいのある人の社会参加等を図るため、障がい者体育祭実行委員会に事務局として参加し、開催を支援した。

ア 日 時	平成 23 年 11 月 3 日（祝）午前 10 時～午後 3 時
イ 場 所	県営サンアリーナ（サブアリーナ）
ウ 参加人数	310 人（障がい者・家族 205 人、ボランティア等 105 人）
エ 負担金	450,000 円

(13) ふれあい交流事業

障がいのある人とその他の人の交流を深めるため、陶芸教室を開催し、相互の理解を図った。

ア 日 時	平成 23 年 8 月 4 日（木） 午前 10 時～午前 11 時 30 分
イ 場 所	二見老人福祉センター 1 階 集会室
ウ 参加人数	96 人
エ 事業費	300,000 円

2 障害者外出支援事業

(1) 重度障害者タクシー料金助成事業

重度の障がいのある人の自立更生、社会参加等を促すため、障がいのある人が利用したタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

- ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚障がい１級～２級、内部障がい１級）又は療育手帳Ａ、精神障害者保健福祉手帳１級～３級の交付を受けている人
- イ 交付枚数等 １人につき６００円券を年間３６枚を限度として交付する。
利用者は、乗車１回につき１枚のみ使用可能とする。
- ウ 助成券交付人数 ５６９人
- エ 助成額 ５,４４８,０００円

（２）重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業

車椅子等でしか移動できない重度の障がいのある人が利用したリフト付タクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

- ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹機能障がい１～３級）の交付を受けている人のうち、外出時に車椅子又は移動寝台を必要とする人
- イ 交付枚数等 １人につき１,０００円券を年間７２枚を限度として交付する。
利用者は、乗車１回につき６枚まで使用可能とする。
- ウ 助成券交付人数 ５７人
- エ 助成額 １,２８３,０００円

（３）心身障害児言語等機能回復訓練通園旅費助成事業

心身に障がいのある人は、早期発見及び早期治療が必要であるので、その障がいを治療するために県立あすなろ学園及び草の実学園等に通園する児童に対し、その健全育成を図るため、通園に要する旅費を助成した。

- ア 支給人数 １人
- イ 助成額 ３３,６００円
- ウ 支給基準 通園先が県内にある場合は旅費の全額を、県外にある場合は旅費の半額を助成する。ただし、１人につき月額１５,０００円を上限とする。

３ 生活環境等整備事業

（１）心身障害者訪問理美容サービス事業

寝たきり状態等のため、理・美容院に出向くことが困難な身体障がいのある人に対し、居宅でサービスが受けられるよう理美容業者の出張料相当分（１回につき１,０００円）を助成した。

- ア 対象者 満６５歳未満
下肢、体幹障がい１～２級、内部障がい１級
- イ 支給人数 ２人
- ウ 助成額 １９,０００円

（２）重度心身障害者紙おむつ等支給事業

寝たきり若しくは排泄の告知が困難な心身障がいのある人に対し、紙おむつ等の購入に要する経費の一部について、紙おむつ等利用券（１箇月につき３,５００円分）を支給した。

- ア 対象者 満３歳以上６５歳未満
下肢、体幹、移動機能障がい１～２級、療育手帳程度Ａ
- イ 支給人数 ９人
- ウ 助成額 ２６９,５００円

4 障害者福祉運営対策経費

(1) 身体障害者福祉センター運営事業

指定管理者制度により、社会適応訓練（パソコン教室等）等を行う身体障害者デイサービス事業を実施するとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。

- ・委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・委託料 8,897,000 円
- ・年間利用人数 1,148 人（身体障害者デイサービス事業）

(2) 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業

ア 運営委託

指定管理者制度により、創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」の運営を委託した。

- ・委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・委託料 26,938,000 円
- ・平均利用人数 11.5 人

イ 施設等修繕

施設運営上に必要となる修繕等下記のとおり実施した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
黒 瀬 町 内 地	伊勢市重度身体障害者デイサービスセンターくじら空調設備修繕工事	熱源設備ブラインポンプ交換	円 147,000	23. 7. 26	23. 8. 4

(3) 障がい者就労支援施設運営事業

ア 運営委託

指定管理者制度により、雇用されることの困難な障がいのある人に就労の機会を提供するとともに、生産活動の機会の提供、その他の知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」、「工房そみん」、「小俣さくら園」、「御菌しらぎく園」の運営を委託した。

- ・委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
- ・委託料 18,201,000 円
- ・平均利用人数 ひまわり 11.5 人 工房そみん 10.2 人 小俣さくら園 13.0 人
御菌しらぎく園 6.0 人

イ 施設等修繕

施設運営上に必要となる修繕等下記のとおり実施した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地 内	(注1)(注3) 就労支援施設工房そみん修繕工事	出入口雨水処理等	円 441,000	23. 6. 2	23. 6. 23

小俣町宮前 地 内	(注2)(注3) 就労支援施設小 俣さくら園修繕 工事	フェンス工 80.0m 張コンクリート工 13.7m	円 952,350	23. 7. 6	23. 8. 12
〃	(注3) 就労支援施設小 俣さくら園駐車 場整備工事	植栽撤去一式 付帯工(植栽帯縁石撤去・ 布設)一式 舗装工 40 m ²	472,500	23. 9. 20	23. 10. 28
御薗町長屋 地 内	障がい者就労支 援施設しらぎく 園修繕工事	自動扉装置取替	210,000	24. 2. 17	24. 3. 15
計	4 件	—	2,075,850	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 監理課施行

(注3) 平成22年度から繰越

ウ 備品購入

障害者自立支援法に基づく新体系サービスへの事業へ移行した場合、新たな事務処理を定着させるために要する経費等が助成される「三重県小規模作業所等移行定着支援事業補助金」を活用し、各施設に必要となる備品を購入した。

・事業費 657,452 円

・購入備品 工房そみん シュレッダー、パーテーション
小俣さくら園 鋼製物置
御薗しらぎく園 肘なしチェアー、シュレッダー

(4) 自立更生事業補助金

市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。

ア 助成団体 10 団体

イ 補助金額 1,517,000 円

5 障害者啓発事業

(1) 障害者週間啓発事業

12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。

ア 街頭啓発

・日 時 平成23年12月3日(土) 午前10時30分～正午頃
・配布物品数 1,380 個
・場 所 イオン伊勢店、イオンララパークショッピングセンター、
伊勢みそのショッピングセンター、ピアゴ上地店、
パローミタス伊勢店、ベリー小俣店、プライスカット伊勢二見店

イ 作品展示

・日 時 平成23年12月5日(月)～9日(金)
・場 所 伊勢市役所本館1階市民ホール
・展示内容 市内授産所等が作成する物品等

ウ 事業費 211,114 円

6 障害者手当等給付事業

(1) 特別障害者手当等給付事業

在宅の重度障がいのある人に対し、その重度障がいによって生じる負担軽減を図るため、特別障害者手当等を支給した。

手 当 名	手 当 月 額	年 度 末 実 人 数	支 給 延べ人数	支 給 金 額
特 別 障 害 者 手 当	円 (注) 26,440 26,340	人 145	人 1,703	円 44,883,720
障 害 児 福 祉 手 当	14,380 14,330	58	691	9,908,080
福 祉 手 当	14,380 14,330	10	120	1,720,600
計	—	213	2,514	56,512,400

(注) 手当月額の上段は平成 23 年 2 月～3 月分、下段は平成 23 年 4 月～平成 24 年 1 月分

ア 支給対象者

特別障害者手当 … 精神又は身体に重度の重複障がい有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の 20 歳以上の人

障害児福祉手当 … 精神又は身体に重度の障がい有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の 20 歳未満の人

福 祉 手 当 … 20 歳以上で旧制度による福祉手当を受給していた人のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害年金も支給されない人

(2) 福祉給付金の支給

常時介護を必要とする重度の心身障がいのある人に対し、福祉の増進を図るため、福祉給付金を支給した。

区 分	対 象 人 数	支 給 単 価	支 給 金 額
前 期 支 給 (6 月)	人 121	円 12,000	円 1,452,000
後 期 支 給 (12 月)	153	12,000	1,836,000
計	274	—	3,288,000

ア 支給対象者

住民税非課税世帯に属する在宅の人のうち下記のいずれかの条件に該当する人

ただし、介護用品支給事業の利用者及び重度心身障害者紙おむつ等支給事業の利用者を除く。

- ・ 1 級の身体障害者手帳の交付を受けている人
- ・ 「A」の療育手帳の交付を受けている人
- ・ 1 級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

7 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業

(1) 通所サービス利用促進事業

障がいのある人が新体系の日中活動サービス事業所、旧体系の通所施設及び短期入所施設が行う送迎サービスを利用する場合、利用者1人につき片道540円（短期入所の場合1,860円）、1事業所あたり年間300万円を上限額とし、その送迎に要する費用を助成した。

ア 対象人数	240人
イ 実施事業所数	32箇所
ウ 助成額	25,140,613円

(2) 新事業移行促進事業

新体系事業所に移行した場合に、当該移行に伴うコストの増加等に対応できるよう、移行した事業所に対し、助成金を交付することにより、移行を促進した。

ア 助成対象人数	75人
イ 事業所数	8箇所
ウ 助成額	589,500円

8 障がい者にやさしいまちづくり事業

(1) 障がい者外出支援対策アドバイザー業務

障がいのある人が安心して外出できるまちづくりを推進するため、社会環境の調査を行うとともに課題、改善策等の検討を業務委託により実施した。

ア	業務内容	
	・高柳商店街のバリアフリー調査	
	・大規模商業施設等の多目的トイレの整備状況調査（市内５施設）	
	・障がい者にやさしいまちづくり意見交換会	
イ	委託料	829,500 円

(2) オストメイト対応トイレ設備整備事業

オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）の方の社会参加を促進するため、市所管の公共施設にオストメイト対応トイレ設備を整備した。

ア 整備施設
伊勢市観光文化会館、神社地区コミュニティセンター、伊勢市ハートプラザみその、伊勢市立伊勢図書館、伊勢市立小俣図書館
イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩渕1丁目 地内ほか	(注) 伊勢市観光文化 会館ほかオスト メイト対応トイレ 設備整備工事	オストメイト対応トイレ設 備取付 5施設	円 6,090,000	23.12.22	24. 3. 2

(注) 建築住宅課施行

(3) ピクトサイン設置事業

公共施設にある多目的トイレ等にイラストで分かりやすく表現されたピクトサインを設置し、利用者の利便性の向上を図った。

ア 整備施設

伊勢市福祉健康センター、伊勢市ハートプラザみその、伊勢市小俣保健センター、二見総合支所、二見老人福祉センター、伊勢市二見生涯学習センター

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
八日市場町 地 内 ほ か	伊勢市福祉健康センターほか多目的トイレ等ピクトサイン設置工事	ピクトサイン取付一式 6施設 21箇所	円 488,250	24. 2. 1	24. 3. 1

9 障がい者グループホーム等緊急整備事業

障害者自立支援法における基盤整備事業として、グループホームやケアホームの整備を促進するため、グループホームやケアホームの設置を緊急に実施する事業者に対して、施設整備補助金を交付した。

ア 施設名	CH・GHはじまり高柳（どっこい）
イ 所在地	伊勢市曾祢1丁目770番地
ウ 定員	10人
エ 設置運営主体	社会福祉法人 四季の里
オ 補助金額	15,000,000円（三重県：7,500,000円 市：7,500,000円）

10 障害者小規模作業所対策事業

小規模作業所を運営する団体に補助金を交付し、在宅の障がいのある人の社会的自立と社会参加の促進を図った。また、市外の小規模作業所への通所者の経費については、設置する玉城町へ入所負担金を支出した。

（１）小規模作業所運営事業費補助金

施 設 名	設 年 立 月 日	設 置 主 体	運 営 主 体	通 所 人 数	主 な 作 業 内 容	補 助 金
杉 の 木 園	H 2. 7. 9	(社)まほろば の里	(社)まほろば の里	14.3	自主製品製造 下 請 け 加 工	5,760,000

※通所人員は、月平均実績人数

（２）小規模作業所入所負担金

施 設 名	設 置 主 体	運 営 主 体	通 所 人 数	負 担 金
夢工房たまき (玉城町)	玉 城 町	(社)玉城町 社会福祉協議会	人 1	円 185,400

11 障害者介護給付等事業

障がい福祉サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。

障害者介護給付・訓練等給付等事業（3～2月）

事業名	実利用 人数	支 援 費 額	サービス内容
居宅介護（ホームヘルプサービス）	人 125	円 77,592,171	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う
重度訪問介護	1	2,349,793	重度の肢体不自由者で常に介護が必要な人に、介護や家事、外出時の支援等を総合的に行う
同行援護	33	2,188,337	視覚障害で移動が困難な人に、外出に必要な支援を行う
短期入所（ショートステイ）	74	17,337,416	介護を行う人の疾病その他の理由により、施設に短期間入所し、適切な支援を行う
生活介護	210	429,739,011	常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動等の機会を提供する
児童デイサービス	135	28,494,814	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
療養介護	7	14,129,610	医療が必要で常に介護が必要な人に、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護等を行う
共同生活介護（ケアホーム）	56	57,301,346	共同生活場所で入浴や排せつ、食事の介護を行う
施設入所支援	125	132,228,333	施設に入所している人に、入浴や排せつ、食事の介護を行う
自立訓練（機能訓練）	4	3,370,674	自立した日常生活や社会生活ができるよう身体機能向上のために必要な訓練を行う
自立訓練（生活訓練）	11	12,196,810	自立した日常生活や社会生活ができるよう生活能力向上のために必要な訓練を行う
自立訓練（宿泊型自立訓練）	2	1,964,760	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間居住の場を提供して生活能力向上のために必要な訓練を行う
就労移行支援	30	26,068,299	就労を希望する人に、一定の期間における生産活動やその他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行う

就労継続支援（A型）	人 5	円 3,477,543	雇用契約に基づき、就労の機会や生産活動等の提供を行う
就労継続支援（B型）	174	166,109,909	事業所で働くことが困難な人に、就労の機会や生産活動等の提供を行う
共同生活援助（グループホーム）	8	2,923,060	地域で共同生活を営む人に、日常生活上の援助を行う
旧身体障害者療護施設	5	9,705,180	常時介護を必要とする障がいのある人が対象で、療護等を行う
旧身体障害者授産施設	1	430,398	自立と社会経済活動への参加に向け、必要な訓練及び職業の提供を行う
旧知的障害者更生施設	69	102,224,830	入所及び通所により日常生活における自立と社会参加のための訓練を行う
旧知的障害者授産施設	57	92,192,690	自立と社会経済活動への参加に向け、生産活動の機会の提供、必要な助言・指導を行う
旧知的障害者通勤寮	3	2,867,970	入所することにより、就労している障がい者の独立・自活に必要な援助・指導を行う
計	1,135	1,184,892,954	

12 障害程度区分認定事業

（１）障害程度区分認定審査会の状況

障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。

- ア 委員数 10人（2合議体、1合議体5人で構成）
- イ 委員構成 内科医師2人、精神科医師2人、医療ソーシャルワーカー2人
障害者相談支援員1人、障害者施設職員3人
- ウ 開催回数 22回
- エ 判定件数

非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
件	件	件	件	件	件	件	件
0	2	18	71	34	32	41	198

（２）障害程度区分認定調査の状況

障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービス利用申請者の訪問調査を実施した。

- ア 調査件数 221件（含、訓練等給付のみを利用する人 23件）
- イ 調査員数 専門調査員（市嘱託職員）1人（専門調査員の外、職員も実施。）

13 補装具費支給事業

日常生活や社会生活の向上を図るため、補装具費の支給（購入及び修理）を次のとおり実施した。

種 目	区 分	件 数	金 額
義 肢	購 入	件 4	円 941,614
	修 理	9	1,741,882
装 具	購 入	35	2,347,245
	修 理	12	376,924
座 位 保 持 装 置	購 入	5	1,793,560
	修 理	12	947,521
盲 人 安 全 つ え	購 入	7	31,611
義 眼	購 入	2	117,420
眼 鏡	購 入	5	126,114
補 聴 器	購 入	71	4,678,970
	修 理	39	614,652
車 い す	購 入	19	4,593,251
	修 理	23	859,441
電 動 車 い す	購 入	2	1,884,749
	修 理	7	586,109
座 位 保 持 椅 子	購 入	1	76,662
起 立 保 持 具	購 入	1	262,406
歩 行 器	購 入	3	253,343
	修 理	2	98,610
歩 行 補 助 つ え	購 入	1	8,343
計	—	260	22,340,427

14 身体障害者医療給付事業

身体に障がいのある人の障がいの除去又は軽減を図るため、更生医療費（人工関節置換術・人工透析等、その他適用を受けることができる治療、投薬等の治療にかかる医療費）を次のとおり給付した。

ア 診療延べ件数	450 件
イ 実人数	50 人
ウ 給付費	20,251,653 円

15 障害児放課後支援事業（ふるさと雇用再生事業）

放課後や長期休業中に、障がいのある児童に日中活動の場を提供するとともに、介護者の負担軽減を図るため、一時預かり事業を行った。

- ア 対象者 小・中学校の特別支援学級あるいは県内の特別支援学校に在籍する児童
- イ 実施場所 [身体障がい児対象「くじらキッズ」]
重度身体障害者デイサービスセンター内
[知的障がい児対象「フレンズ」]
小俣農村環境改善センター内
- ウ 利用時間 午後 1 時 30 分～午後 6 時（学校長期休業日は午前 9 時～午後 4 時）
- エ 休業日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12／29～1／3）
- オ 実利用人数 73 人

16 自立支援医療（精神通院）の受付

在宅で精神に障がいのある人の通院医療を促進し、地域での生活を支援するため、通院医療費公費負担に関する申請及び届出の受付、進達業務を行った。

- ア 受給者証交付件数 1,213 件（平成 24 年 3 月末）

17 身体障害者手帳の交付

身体に障がいのある人の自立更生の援助と生活の安定を図るため、次のとおり身体障害者手帳の申請及び交付事務を行った。

（1）新規交付数等異動状況

障がい		区 分	4 月 1 日 手帳交付数	新 交	規 付	転 入	転 出 死 変	出 亡 更 変	3 月 末 手帳交付数
肢 体 障 が い	児		件 59	件 9		件 1		件 △5	件 64
	者		3,500	187		16		△153	3,550
視 覚 障 が い	児		2	2		1		0	5
	者		456	17		2		△23	452
聴 覚 障 が い	児		16	1		0		△2	15
	者		826	40		1		△35	832
言 語 障 が い	児		2	0		0		0	2
	者		86	8		0		△3	91
内 部 障 が い	児		21	3		0		△2	22
	者		1,705	179		3		△121	1,766
計	児		100	15		2		△9	108
	者		6,573	431		22		△335	6,691

(2) 等級別交付状況（平成24年3月末現在）

障がい		区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
肢 体 障 が い	児		件 31	件 20	件 7	件 1	件 4	件 1	件 64
	者		665	756	684	852	386	207	3,550
視 覚 障 が い	児		2	1	1	1	0	0	5
	者		150	122	45	41	47	47	452
聴 覚 障 が い	児		0	6	4	2	0	3	15
	者		61	176	120	139	5	331	832
言 語 障 が い	児		0	1	0	1	—	—	2
	者		1	2	53	35	—	—	91
内 部 障 が い	児		13	0	5	4	—	—	22
	者		1,069	25	318	354	—	—	1,766
合 計	児		46	28	17	9	4	4	108
	者		1,946	1,081	1,220	1,421	438	585	6,691

18 療育手帳の交付

知的障がいのある人に対して一貫した指導・相談及び援護措置を行うため、療育手帳の申請及び交付を行った。

障がい		区 分	年 度 当 初 手 帳 交 付 数	新 交	規 付	転 入	転 出 死 変	出 亡 更 更	3 月 末 手 帳 交 付 数
A (重 度)	児		件 62		件 6	件 0		件 △3	件 65
	者		344		3	0		11	358
B (中軽度)	児		96		16	2		△16	98
	者		311		5	2		0	318
計	児		158		22	2		△19	163
	者		655		8	2		11	676

19 精神障害者保健福祉手帳の交付

精神に障がいのある人に対して社会復帰・社会参加の促進を図るため、保健福祉手帳の申請及び交付事務を行った。

障 害 等 級		区 分	平成 23 年 4 月 当 初 手 帳 交 付 数	平成 24 年 3 月 末 手 帳 交 付 数	増 減
1 級			件 62	件 67	件 5
2 級			331	376	45
3 級			140	142	2
計			533	585	52